

# Endeavor TB20S



## ユーザーズマニュアル

**Windows 8.1**

### ご使用前に

- コンピューターをご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みの上、正しくお使いください。

# 情報マップ (知りたい情報はどこにある?)

本機に関する情報は、次の場所で見ることができます。

購入時

使いはじめ

使いこなしたいとき

困ったとき

故障したとき

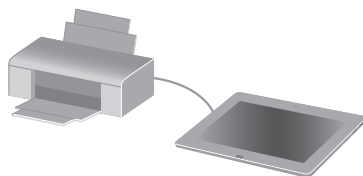
## やりたいこと

- 本機の添付品を知りたい
- Windowsをセットアップしたい
- 本機を設置したい

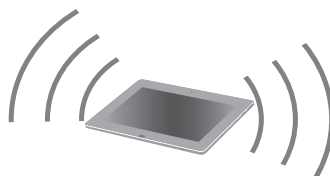
- インターネット/メールをしたい
- Windowsの操作方法を知りたい
- 用語を調べたい
- アプリの操作方法を知りたい
- 周辺機器(プリンター、デジタルカメラなど)を使いたい

- オプション製品(マウス、アプリなど)を使いたい

- USB機器を接続したい **p.46**



- 無線LANに接続したい **p.58**



- メモリーカードを使いたい **p.43**

- 添付アプリを知りたい **p.21**

- 省電力で使いたい **p.82**

- 本機の仕様を知りたい **p.129**

- 再インストールをしたい **p.107**

- UEFIの設定を変更したい **p.91**

- セキュリティー設定をしたい **p.76**

- Bluetooth機器を使いたい **p.71**

- カメラを使いたい **p.86**

- GPS機能を使いたい **p.88**

- 画面表示やサウンドの設定をしたい **p.48、55**

- トラブルを解決したい **p.113**

- システム診断をしたい **p.124**

- サポート・サービス情報を知りたい

- 修理を依頼したい



### 紙マニュアル

紙で添付されている情報です。



### PC お役立ちナビ

コンピューターの画面で見る電子の情報です。

## 情報の場所



『スタートアップガイド』



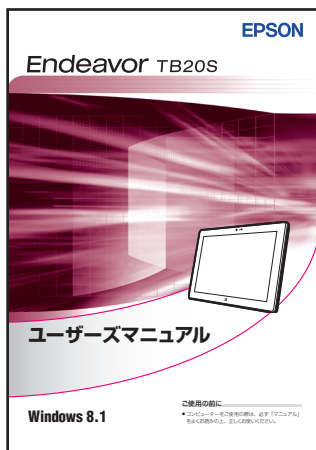
【お役立ち】



オプション製品のマニュアル



ユーザーズマニュアル(本書)



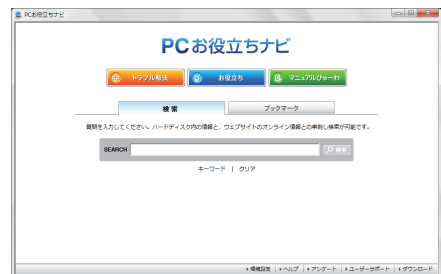
【トラブル解決】



『サポート・サービスのご案内』

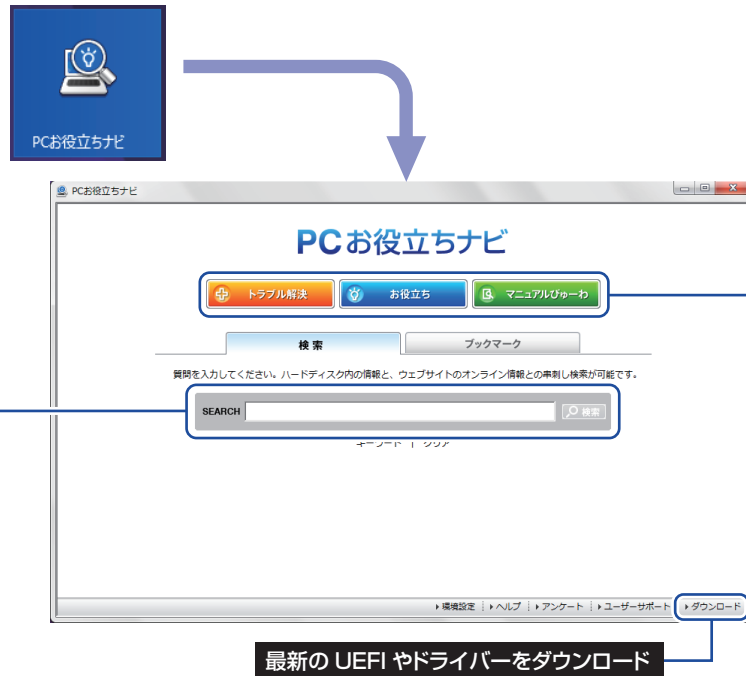


PCお役立ちナビ p.4



# 知りたい情報はこれで検索！ PC お役立ちナビ

本機には、知りたい情報を簡単に検索できるサポートツール「PC お役立ちナビ」が搭載されています。困ったときや、役立つ情報を知りたいときなどにお使いください。最新のUEFI やドライバーもダウンロードできます。



① 検索をする

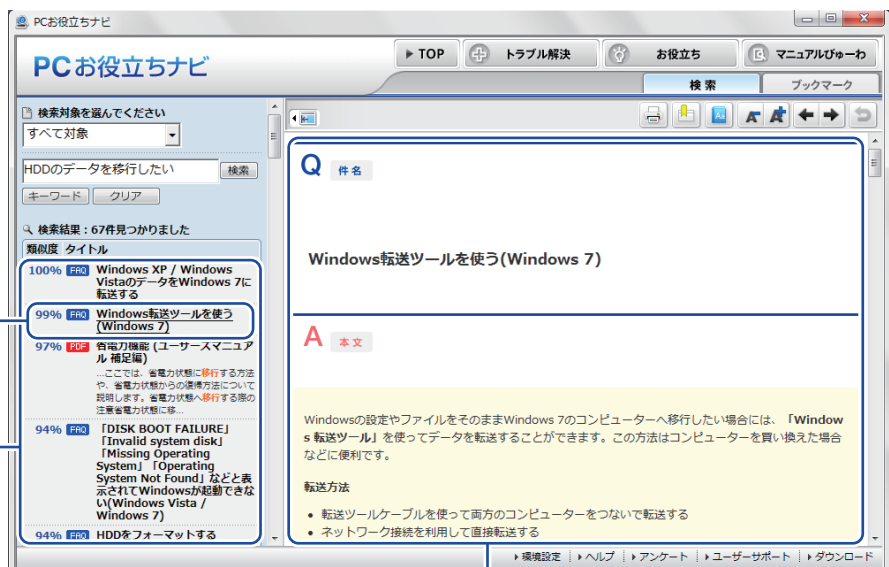
TOPページから  
検索実行

本機に収録されている情報+ユーザーサポート  
ページのオンライン情報を一度に検索

※本機に収録されている情報 = サポートコンテンツ・マニュアル (PDF)・ヘルプなど  
※インターネットに接続していない場合は、本機に収録されている情報のみを検索します。

① 見たい項目  
を選択

検索結果



② 内容が表示される



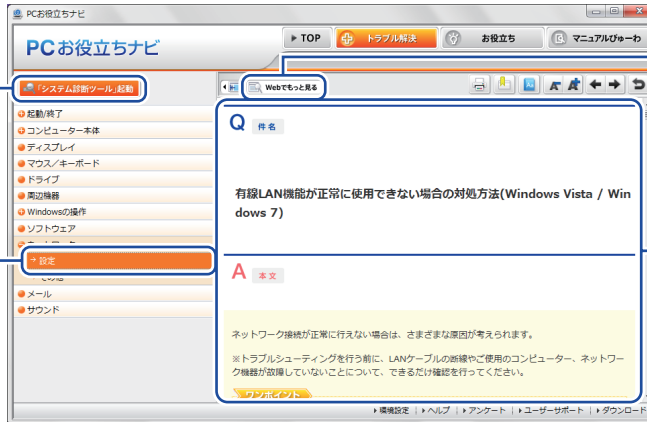
## ② おすすめコンテンツ・マニュアルを見る

### トラブル解決

トラブル解決に役立つ情報や、システム診断ツールを収録しています。

システム診断  
を実行

①トラブルの種類  
を選択



もっと情報が見たい  
とき→Webへ

②内容が表示される

### お役立ち

コンピューターの便利な使い方や、役立つ情報を収録しています。

①情報の分類を  
選択

②見たい項目を  
選択



もっと情報が見たい  
とき→Webへ

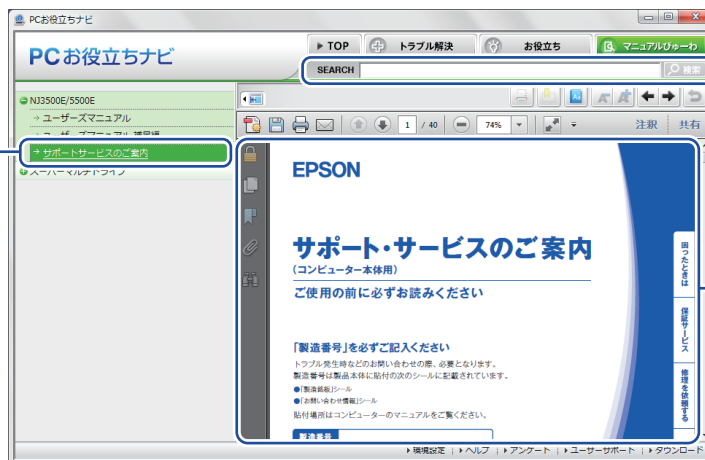
[お役立ち] 内の  
情報を検索

③内容が表示される

### マニュアルびゅーわ

本機に添付されているマニュアルの PDF データを収録しています。

①見たいマニュアル  
を選択



[マニュアルびゅーわ]  
内の情報を検索

②マニュアル(PDF)  
が表示される

<イメージ>

# 目次

## ご使用の前に

製品保護上の注意.....	10
無線 LAN 使用時のセキュリティーに関する注意.....	12
マニュアルの読み方.....	13
各部の名称.....	19
添付されているアプリ.....	21

## 1 コンピューターの基本操作

Windows 8.1 の基本操作.....	24
AC アダプターで使う / バッテリーで使う.....	33
タッチパネルを操作する.....	38
ソフトウェアキーボードを使う.....	40
eMMC の概要.....	42
メモリーカードを使う.....	43
USB 機器を使う.....	46
画面表示機能.....	48
外付けディスプレイを使う.....	51
サウンド機能.....	55
無線 LAN 機能.....	58
Bluetooth 機能.....	71
インターネットを使用する際のセキュリティー対策.....	76
Microsoft Office (オプション) を使う前に.....	81
省電力機能.....	82
カメラを使う.....	86
GPS 機能.....	88

## 2 UEFI の設定

UEFI の設定を始める前に.....	92
UEFI Setup ユーティリティーの操作.....	93
UEFI Setup ユーティリティーの設定項目.....	102

## 3 再インストール

再インストールの前に.....	108
PC をリフレッシュする.....	109
すべてを削除して Windows を再インストールする... ..	110

# 4

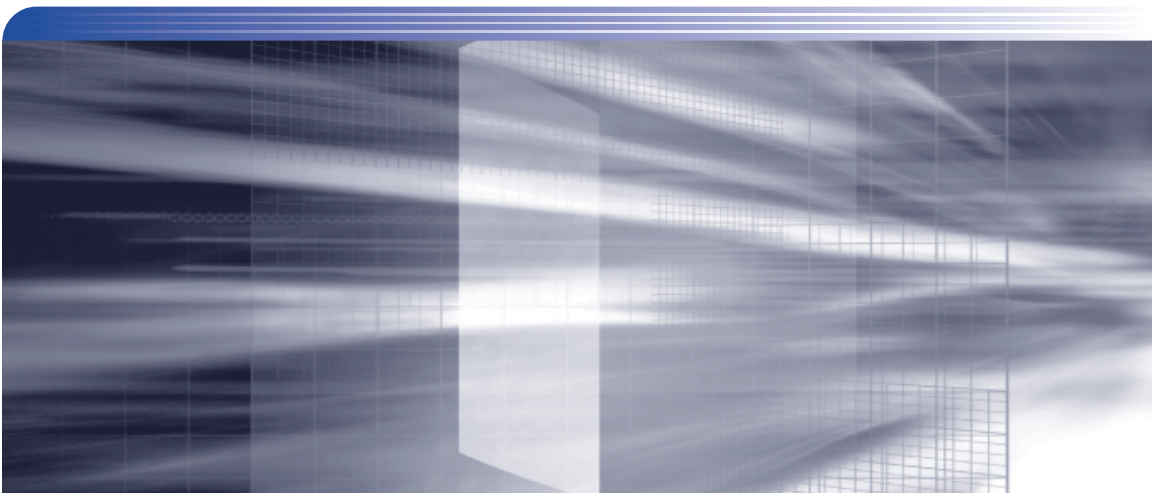
## 困ったときは

.....	114
.....	116
.....	120

## 付録

.....	126
.....	127
.....	129





# ご使用前に

本機を使い始める前に知っておいていただきたい事項や、取り扱い上の注意などを説明します。

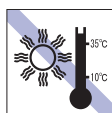
製品保護上の注意.....	10
無線 LAN 使用時のセキュリティーに関する注意...	12
マニュアルの読み方.....	13
各部の名称.....	19
添付されているアプリ.....	21

# 製品保護上の注意

## 使用・保管時の注意

コンピューター（本機）は精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。

特に指定のない限り、注意事項は、本体および AC アダプターなどの同梱品に適用されます。

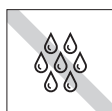


温度が高すぎる所や、低すぎる所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。適切な温度の目安は 10°C～35°C です。



ホコリの多い所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



温度が低い場所から温度が高い場所へ本機を急に移動させると、結露が発生する場合があります。

結露したまま本機を使用すると、故障、誤動作の原因となります。

結露が発生した場合は、本機が室温と同じくらいの温度になるのを待ってから、使用してください。



直射日光の当たる所や、発熱器具（暖房器具や調理器具など）の近くなど、高温・多湿となる所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

また、直射日光などの紫外線は、変色の原因となります。

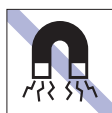


不安定な所には設置しないでください。

落下したり、振動したり、倒れたりすると、本機が壊れ、故障することがあります。



他の機械の振動が伝わる所など、振動しやすい場所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものの近くに置かないでください。

誤動作やデータ破損の原因となることがあります。逆に、本機の影響でテレビやラジオに雑音が入ることもあります。



電源コードが抜けやすい所（コードに足が引っかかりやすい所や、コードの長さがぎりぎりの所など）に本機を置かないでください。



無停電電源装置（UPS）を使用する場合は、正弦波出力の UPS を使用してください。正弦波出力以外の UPS を使用すると、本機が起動できなくなったり、動作が不安定になったりする場合があります。



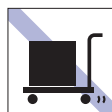
本機を落としたり、ぶつけたりして、衝撃を与えないでください。持ち運ぶときは、電源を切り、バッグに入れるなどして衝撃から守るようにしてください。



本機の汚れを取るときは、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。

変色や変形の可能性があります。

柔らかい布に中性洗剤を適度に染み込ませて、軽く拭き取ってください。



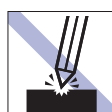
本機を梱包しない状態で、遠隔地への輸送や保管をしないでください。

衝撃や振動、ホコリなどから本機を守るため、専用の梱包箱に入れてください。



本機の上に重い物を載せたり、強く押さえ付けたりしないでください。

LCD やバックライトが破損したり、表示異常となることがあります。



LCD 画面の表面を先の尖ったもので引っかいたり、無理な力を加えたりしないでください。

LCD 画面の表面はアクリル製ですので、キズが付いたり、割れたりすることがあります。



ACアダプターはコードを持って抜き差ししないでください。  
コードの断線や接触不良の原因となります。



ACアダプターの上に乗ったり、踏みつけたり、重い物を載せるなどして、ケースを破損しないでください。

## メモリーカード

メモリーは、次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、メモリーカードに収録されているデータが破損するおそれがあります。



直射日光が当たる所、発熱器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。



ゴミやホコリの多い所では、使用したり保管したりしないでください。



上に物を載せないでください。



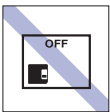
キズを付けしないでください。



クリップで挟む、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。



アクセスランプ点灯・点滅中は、記録メディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



使用後は、本機にセットしたままにしたり、ケースに入れずに放置したりしないでください。



金属端子には触れないでください。



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものに近づけないでください。



金属端子にホコリや水を付けしないでください。  
シンナーやアルコールなどの溶剤を近づけないでください。



# 無線 LAN 使用時の セキュリティに関する注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。無線 LAN を使用する前に、必ずお読みください。

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

## ● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

## ● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。


本来、無線 LAN や無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN や無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

※ セキュリティ対策を施さず、または、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。テクニカルセンターまでお問い合わせください。



当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

# マニュアルの読み方

## マニュアル中の表記










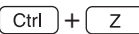



### 安全に関する記号

本書では次のような記号を使用しています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。




### 一般情報に関する記号

本書では、次のような一般情報に関する記号を使用しています。

	制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。
	参考事項です。 覚えておくと便利なことを記載しています。
	操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。
	手順が次ページに続くことを示します。
	 で囲んだマークはキーボード上のキーを表します。  は Enter キーを表します。また、  は  のことです。このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。
 + 	+の前のキーを押したまま+の後のキーを押します。 この例では、  を押したまま  を押します。

## 参照先に関する記号

本書では、次のような参照先に関する記号を使用しています。

	本書内の参照ページを示します。
	別冊子を示します。
「 」	冊子の名称を示します。 例) 『サポート・サービスのご案内』
	サポートツール [PC お役立ちナビ] を示します。

## 名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

eMMC	embedded MultiMediaCard
メモリーカード	Micro SD カード

## オペレーティングシステム (OS) に関する表記

本書では、オペレーティングシステム (OS) の名称を次のように略して表記します。

Windows 8.1	Windows <sup>®</sup> 8.1 with Bing 64 bit 版
-------------	---

## eMMC 容量の記載

本書では、eMMC 容量を 1GB (ギガバイト) = 1000MB として記載しています。

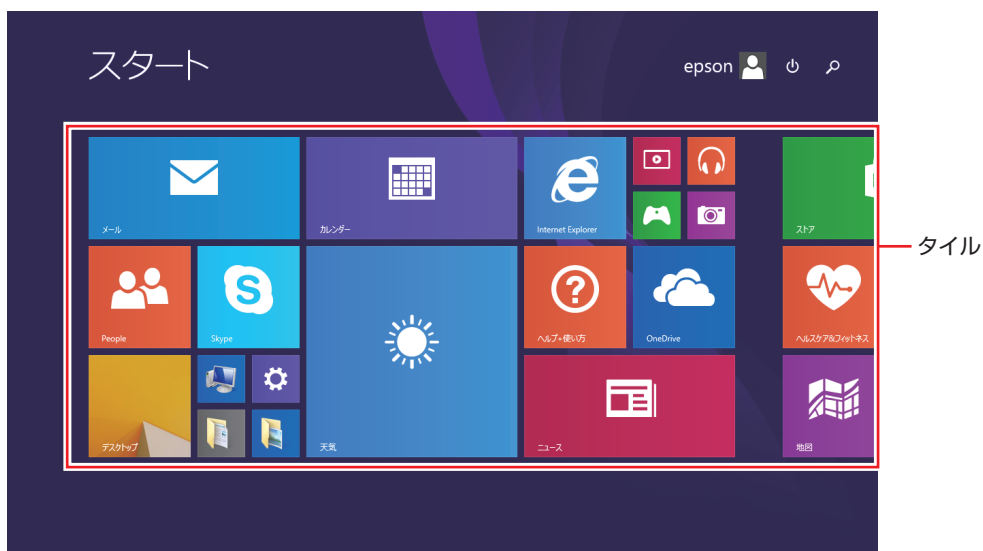
## メモリー容量の記載

本書では、メモリー容量を 1GB (ギガバイト) = 1024MB として記載しています。

# Windows の画面表示に関する記載

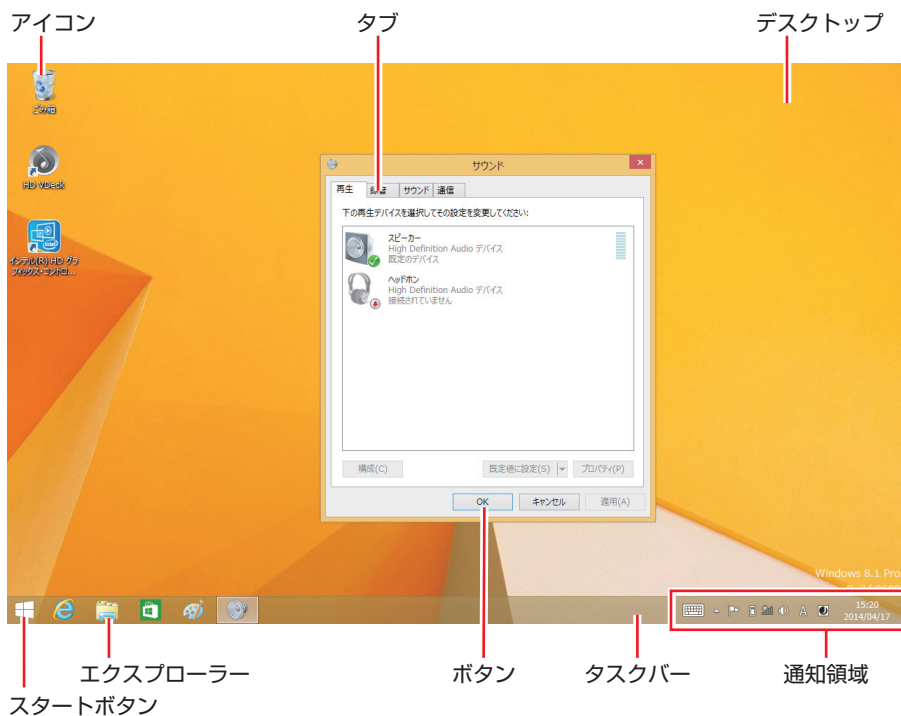
本書では、Windows の画面に表示される各箇所の名称を次のように記載しています。

## スタート画面



<イメージ>

## デスクトップ画面



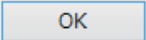
## タイトル / ボタン

タイトルやボタンは [ ] で囲んで記載しています。

例)  : [PC お役立ちナビ]



例)  : [OK]



## コントロール パネル

本書では、コントロール パネルの表示が、「カテゴリ」であることを前提に記載しています。



<表示方法 : カテゴリ>

## 画面操作の記載

本書では、Windows の画面上で行う操作手順を次のように記載しています。

### ● 記載例

[デスクトップ] - 「設定チャーム」 - 「コントロール パネル」 - 「デスクトップのカスタマイズ」 - 「画面の解像度の調整」

● 実際の操作

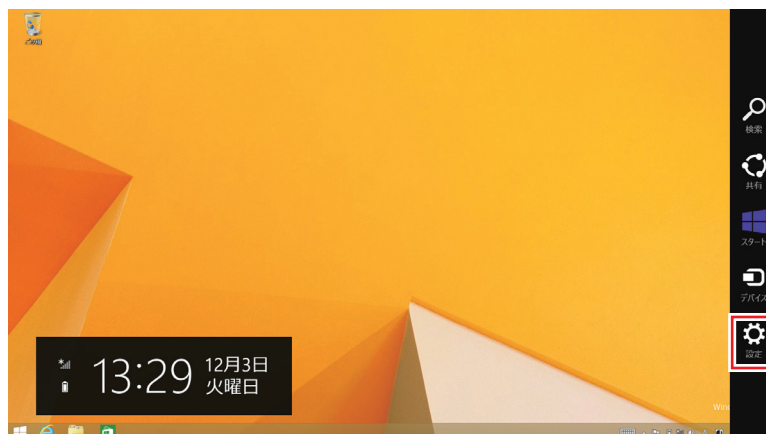
- ① スタート画面で「デスクトップ」タイルをタップします。



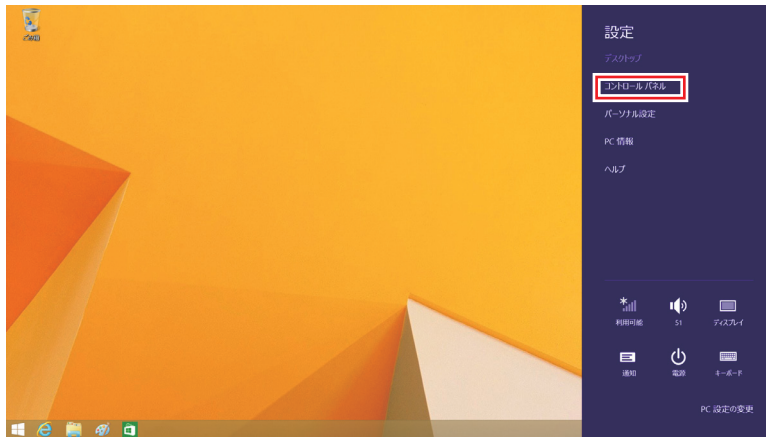
- ② デスクトップ画面が表示されたら、画面外右端から左へスワイプし、チャームを表示します。



- ③ 設定チャームをタップします。



- 4 設定メニューが表示されたら、「コントロール パネル」をタップします。



- 5 表示された画面内の「デスクトップのカスタマイズ」をタップします。



- 6 表示された画面内の「画面の解像度の調整」をタップします。

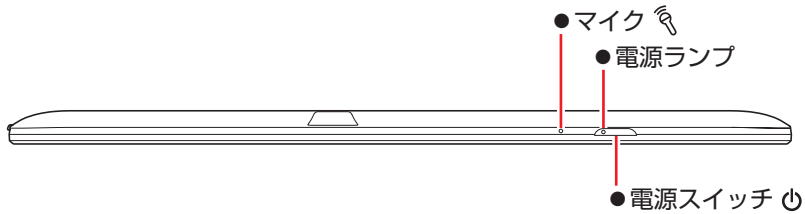




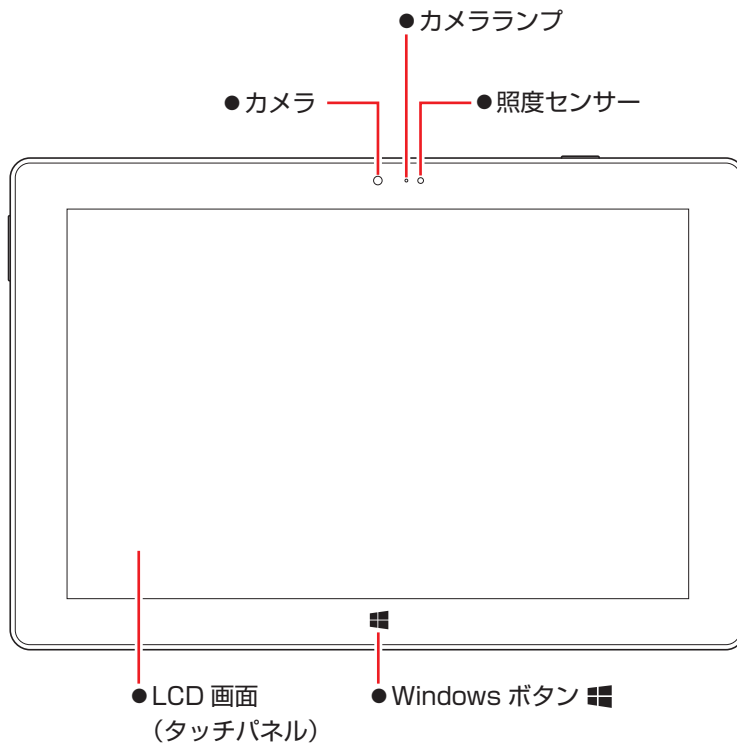
# 各部の名称

本機の各部の名称を記載します。

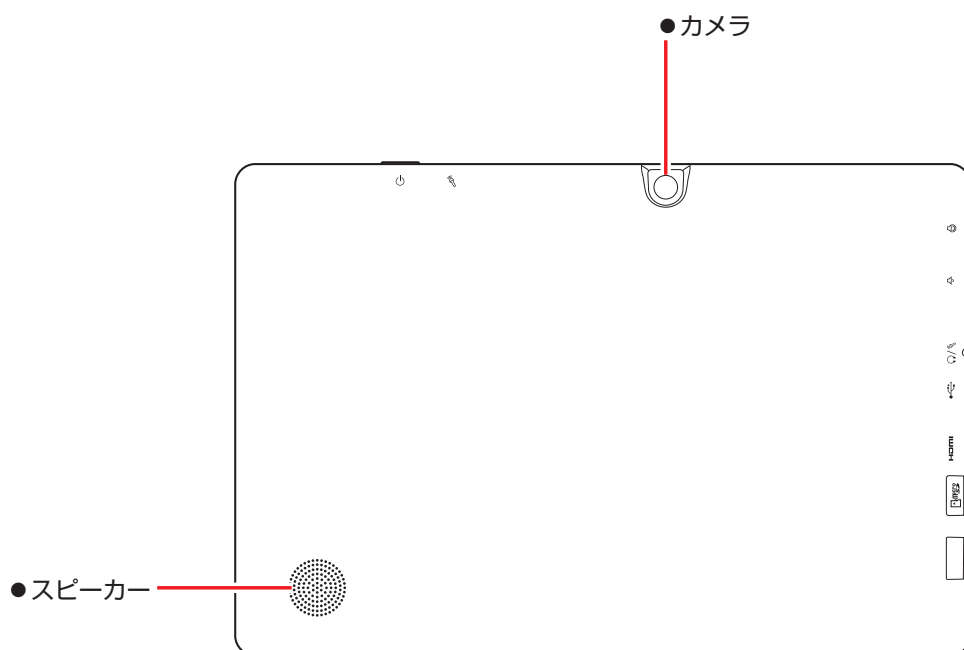
## 上面



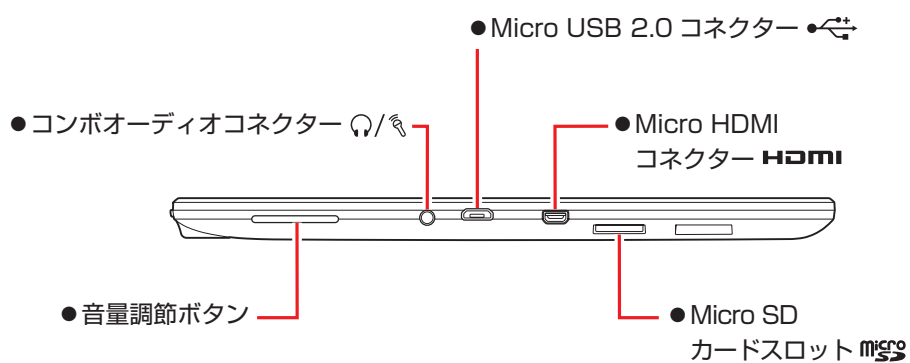
## 前面



## 背面



## 左側面



# 添付されているアプリ

本機に添付されているアプリについて説明します。

## 本機にインストールされているアプリ

次のアプリは、購入時、本機にインストールされています。





本機にインストールされているアプリ
<ul style="list-style-type: none"><li>●Windows 8.1 本機のオペレーティングシステム (OS) です。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>●本体ドライバー<ul style="list-style-type: none"><li>•チップセットドライバー マザーボード上のデバイスを使用するためのドライバーです。</li><li>•ビデオドライバー CPU のビデオ機能を使用するためのドライバーです。</li><li>•メモリーカードドライバー メモリーカードスロットを使用するためのドライバーです。</li><li>•機内モードユーティリティ 機内モードのオン / オフ切り替えをするためのユーティリティです。</li><li>•ホットキーユーティリティ 画面の明るさ自動調整のオン / オフ切り替えなどをするためのユーティリティです。</li><li>•Intel Trusted Execution Engine ドライバー Intel Trusted Execution Engine を制御するためのドライバーです。</li><li>•Intel Sideband Fabric ドライバー Intel Sideband Fabric を制御するためのドライバーです。</li><li>•Intel GPIO Controller ドライバー Intel GPIO Controller を制御するためのドライバーです。</li><li>•サウンドドライバー 音を鳴らしたり、録音するためのドライバーです。</li><li>•無線 LAN ドライバー 無線 LAN を使用するためのドライバーです。</li><li>•Bluetooth ドライバー Bluetooth を使用するためのドライバーです。</li><li>•GPS ドライバー GPS 機能を使用するためのドライバーです。</li></ul></li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>●PC お役立ちナビ  p.4、p.114 コンピューターの情報を簡単に検索できるサポートツールです。 システム診断ツールも含まれています。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>●Adobe Reader PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのアプリです。</li></ul>

本機にインストールされているアプリ
<ul style="list-style-type: none"> <li>●Windows Essentials ムービーメーカーやフォトギャラリーなど、複数のアプリを含むパッケージです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●楽天 Gateway 楽天サービスへの入り口となるアプリです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●NAVITIME 地図で音声案内や乗換ができるナビアプリです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●Fresh Paint 油彩画などの絵を描くためのペイントアプリです。</li> </ul>

## 必要に応じてインストールするアプリ

次のアプリは、購入時、本機にインストールされていません。必要に応じて次の場所からインストールしてください。

アプリ一覧 (p.29) の「おすすめアプリケーションのインストール」

必要に応じてインストールするアプリ
<ul style="list-style-type: none"> <li>●ウイルスバスター クラウド 90 日版  p.77 ウイルス駆除機能、不正アクセス防止機能などを備えたセキュリティアプリです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●i-フィルター 6 30 日版  p.80 インターネット上の有害な Web ページへのアクセスを制限する Web フィルタリングアプリです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●Endeavor 電源プラン設定ツール  p.85 本機に節電設定を行うためのアプリです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●ネットワーク切替えツール  p.68 ネットワークの設定を切り替えるためのユーティリティです。</li> </ul>

# 1

## コンピューターの基本操作

コンピューターの基本的な操作方法について記載しています。

Windows 8.1 の基本操作 .....	24
AC アダプターで使う / バッテリーで使う .....	33
タッチパネルを操作する .....	38
ソフトウェアキーボードを使う .....	40
eMMC の概要 .....	42
メモリーカードを使う .....	43
USB 機器を使う .....	46
画面表示機能 .....	48
外付けディスプレイを使う .....	51
サウンド機能 .....	55
無線 LAN 機能.....	58
Bluetooth 機能.....	71
インターネットを使用する際のセキュリティー対策...	76
Microsoft Office (オプション) を使う前に.....	81
省電力機能 .....	82
カメラを使う .....	86
GPS 機能.....	88

# Windows 8.1 の基本操作

ここでは、Windows 8.1 の基本的な操作方法を説明します。

- 起動と終了  p.24
- スタート画面  p.26
- チャーム  p.26
- アプリ  p.28
- デスクトップ  p.29

詳細な操作方は、次の場所をご覧ください。

- スタート画面の [ヘルプ+使い方]
- PC お役立ちナビの「お役立ち」  
 p.4 「PC お役立ちナビ」

## 起動と終了


Windows 8.1 の起動方法 / 終了方法を説明します。

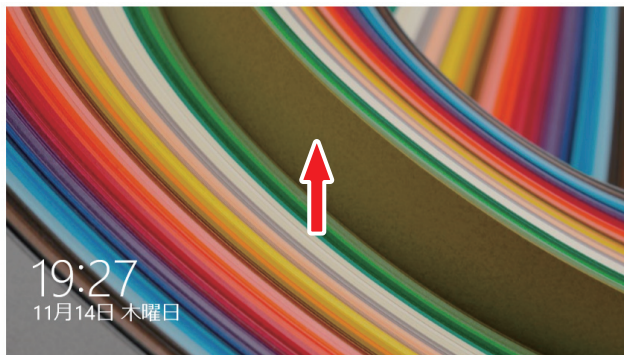
### 起動方法

本機の電源を入れ、Windows を起動する方法は、次のとおりです。


#### ！ 制限

- 周辺機器の電源をいつ入れるかは、周辺機器のマニュアルで確認してください。電源を入れるタイミングがコンピューターより先か後かは、周辺機器により決まっています。
- 電源を入れなおすときは、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。電気回路に与える電氣的な負荷を減らして、eMMC などの動作を安定させます。

- 1** 電源スイッチ (  ) を押して、本機の電源を入れます。
- 2** パスワードを設定していると、ロック画面が表示されます。  
ロック画面が表示された場合は、次の操作を行います。
  - 1** 画面を下から上へスワイプします。



<イメージ>

- 2** パスワード入力画面が表示されたら、パスワードを入力して [Enter] を押します。  
Windows が起動し、スタート画面が表示されます。  
 p.26 「スタート画面」

## 終了方法

Windows の終了方法を説明します。終了方法には次の 2 つがあります。

### ● シャットダウン

通常の終了方法です。システムは完全には終了しません。次回 Windows の起動が速くなります。

### ● PC の電源を切る

システムを完全に終了する方法です。次回 Windows の起動には時間がかかります。

周辺機器を接続・交換する場合は、「シャットダウン」ではなく、「PC の電源を切る」で終了してください。「シャットダウン」で終了した状態で機器を変更すると、機器が認識されなくなる場合があります。

また、ドライバーやアプリをインストールした場合や、Windows Update を行った場合、「シャットダウン」では更新内容が適用されません。「再起動」または「PC の電源を切る」を行って、一度システムを完全に終了してください。



[PC お役立ちナビ] - [マニュアルびゅうわ] - [機種名] - [ユーザーズマニュアル] - [トラブル時に効果的な対処方法] - [再起動]



#### 参考

#### 終了時の注意

複数のユーザーがサインインしている状態で終了しようとする時、「まだ他のユーザーがこの PC を使っています。…」と表示されます。この場合は、ほかのユーザーがサインアウトしてから終了してください。


#### 電源スイッチで終了する

電源スイッチを押してシャットダウンするように設定したい場合は、次の場所で行ってください。

[デスクトップ] - [設定チャーム] - [コントロール パネル] - [システムとセキュリティ] - [電源オプション] - [電源ボタンの動作を選択する] - [電源ボタンを押したときの動作] を「シャットダウン」に設定

## シャットダウン

シャットダウン方法は、次のとおりです。

- 1 スタート画面右上の  をタップし、表示された項目から「シャットダウン」をタップします。

Windows が終了します。

## PC の電源を切る

システムを完全に終了する方法は、次のとおりです。

- 1 チャームを表示 - [設定チャーム] - [PC 設定の変更] - [保守と管理] - [回復] - [PC の起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動する] をタップします。

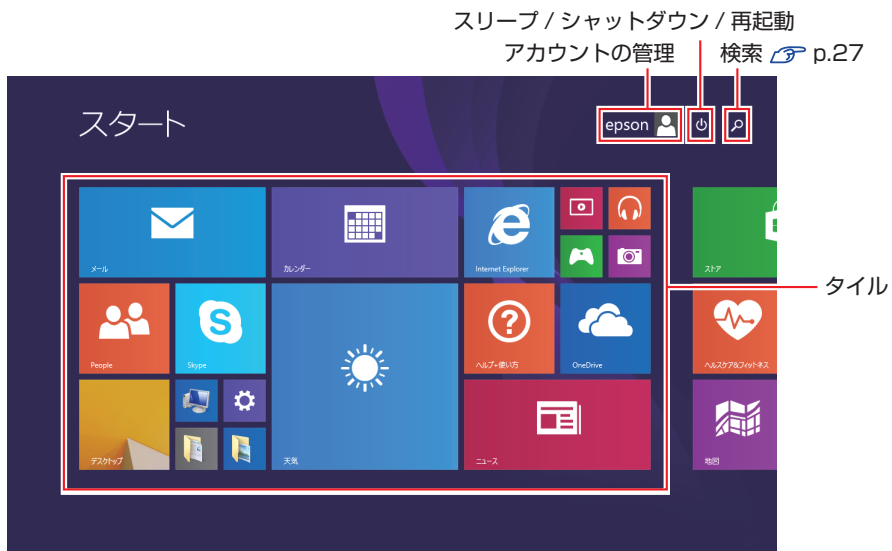
- 2 表示されたメニューで「PC の電源を切る」をタップします。

Windows が終了します。



## スタート画面

本機の電源を入れ、Windows が起動すると、スタート画面が表示されます。これが Windows 8.1 の基本画面です。画面上の各タイルをタップすると、アプリ (p.28) やデスクトップ (p.29) が起動します。

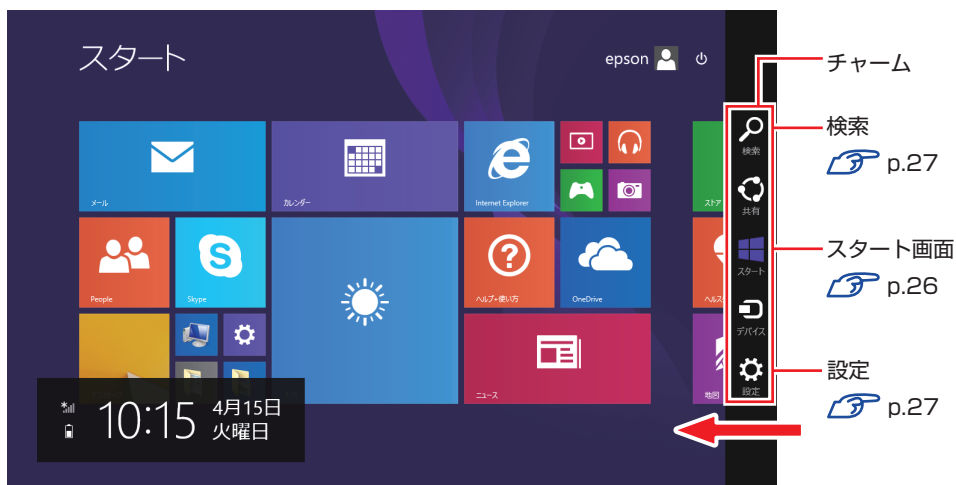


<イメージ>

画面右上のボタンを押すと、アカウントの管理や検索、スリープ/シャットダウン/再起動を行うことができます。

## チャーム

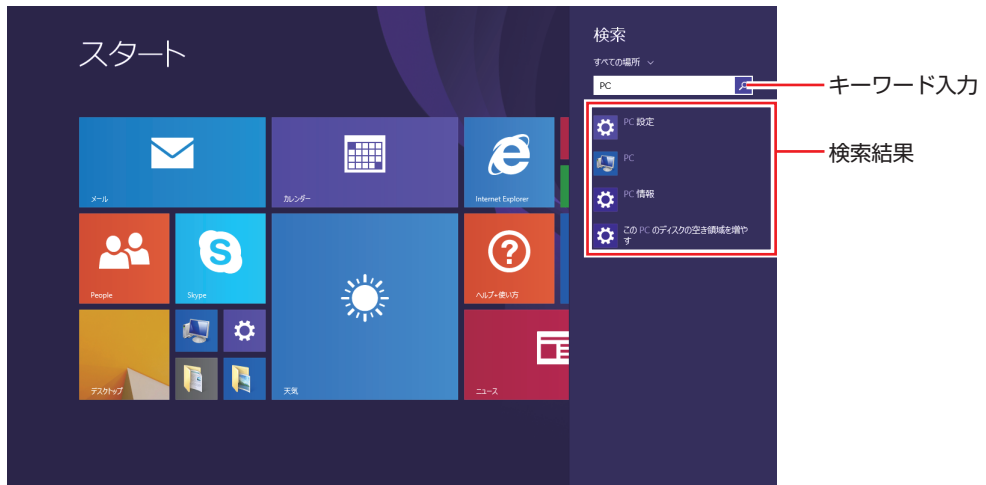
画面外右端から左へスワイプすると、画面右側にチャームが表示されます。設定やファイル、情報を探るときは検索チャームを、スリープ/シャットダウン/再起動、画面の輝度調整などを行うときは、設定チャームをタップします。  
※チャームは、スタート画面だけでなく、各アプリの画面上でも表示されます。



<イメージ>

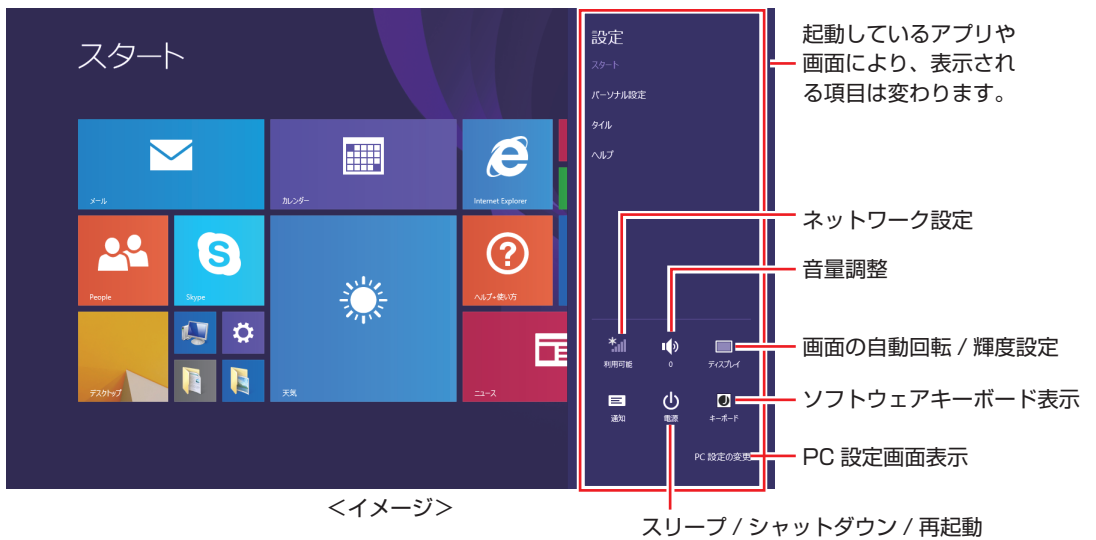
## 検索メニュー

検索チャームをタップすると、検索メニューが表示されます。インターネットに接続している状態で検索を行うと、Bing の検索結果も同時に表示されます。



## 設定メニュー

設定チャームをタップすると、設定メニューが表示されます。



## アプリ

スタート画面に表示されているタイルをタップすると、アプリが起動します。  
アプリには次の2種類があります。

- Windows ストア アプリ

スタート画面上で動作するアプリです。

Internet Explorer、メール、フォト、カレンダーなど

Windows ストア アプリは、Windows ストアからダウンロードすることができます。



- Windows アプリ

デスクトップ上で動作するアプリです。

PC お役立ちナビ、Adobe Reader、Internet Explorer など



各アプリの詳細説明は、次の場所をご覧ください。



[【PC お役立ちナビ】](#) - [【お役立ち】](#)

## アプリ一覧を表示する

スタート画面を下から上へスワイプすると、アプリの一覧が表示されます。

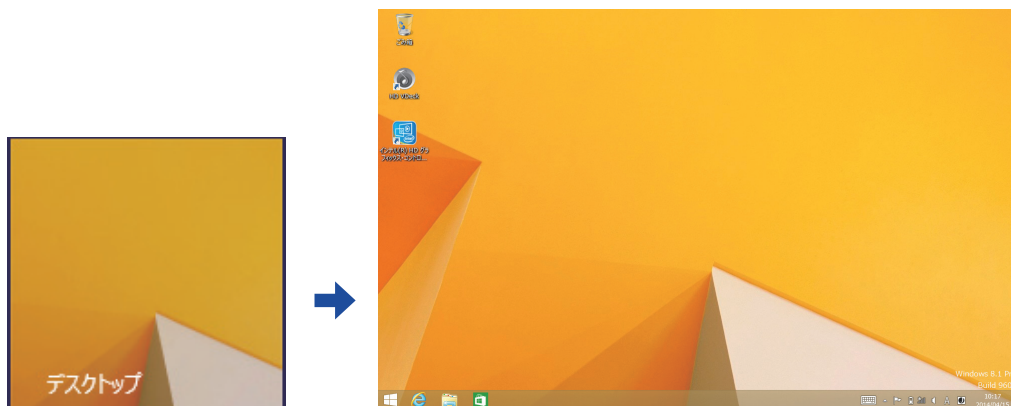


<イメージ>

- 後からインストールしたアプリは、一覧に追加されます。
- アプリは、スタート画面やタスクバーに表示（ピン留め）することができます。アプリアイコン上でタップアンドホールドし、表示されたメニューから設定してください。

## デスクトップ

スタート画面でデスクトップタイルをタップすると、Windows のデスクトップが表示されます。デスクトップ画面では、Windows アプリやエクスプローラーを使用することができます。



<イメージ>



参考

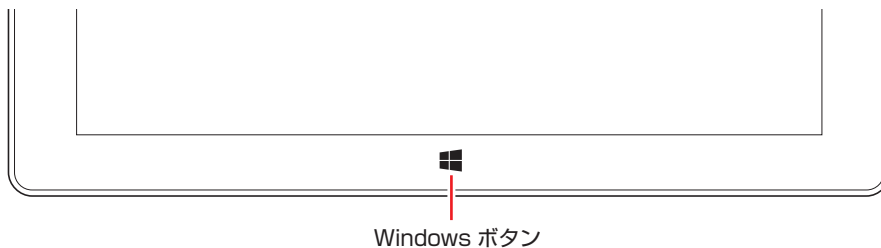
アイコンや文字サイズを大きくする

デスクトップのアイコンや文字サイズを拡大して使用したい場合は、次の場所で設定を行います。

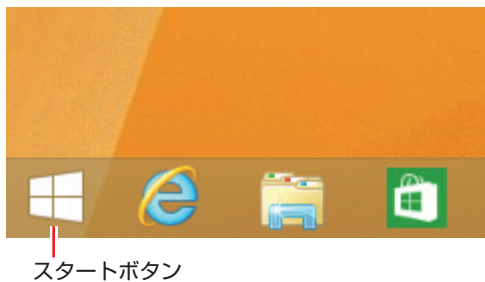
デスクトップ上でタップアンドホールダー「画面の解像度」－「テキストやその他の項目の大きさの変更」

## スタート画面に戻る

Windows ボタンを押すと、スタート画面に戻ります。



画面左下のスタートボタンをタップして戻ることもできます。



## 起動中のアプリを切り替える

いくつかのアプリが起動している場合、次の方法でアプリを切り替えることができます。

- アプリを1つずつ切り替える

画面外左端から右へスワイプするたびに、起動中のアプリが次々と切り替わります。



<イメージ>

● 起動中のアプリ一覧を表示して切り替える

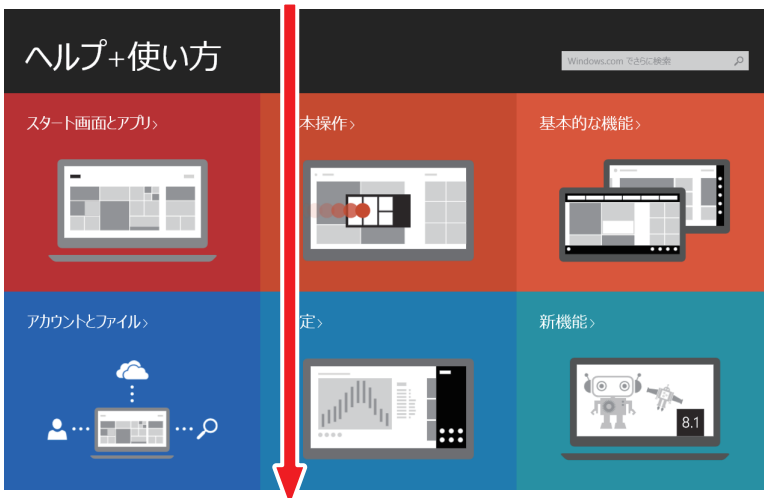
画面外左端から右へ少しだけスワイプして画面左端まで戻すと、起動中のアプリ一覧が表示されます。使用するアプリをタップして切り替えます。



<イメージ>

## Windows ストア アプリを終了する

Windows ストア アプリが起動している状態で、すばやく画面外上端から画面外下端までドラッグすると、アプリがスタンバイモードになります。



<イメージ>





# AC アダプターで使う / バッテリーで使う

本機を内蔵のバッテリーで使用したり、AC アダプターを接続して使用方法を説明します。

## AC アダプターの型番

本機の AC アダプターの型番は、次のとおりです。

- AC アダプター : W12-010N3A

ご購入の際は、当社ホームページの「オプション」から本機の AC アダプターを選択してください。

<http://shop.epson.jp/>

## 使用時の注意



- 本機には、必ず同梱された AC アダプターと充電専用 USB ケーブルを使用してください。また、本機の AC アダプターと充電専用 USB ケーブルは、他の製品に使用しないでください。感電・火傷・火災の原因となります。
- バッテリーを、マニュアルで指示されている以外の方法で充電しないでください。発熱や発火、液漏れによる被害の原因となります。
- 本体を火中に入れたり、火気に近づけたり、加熱したり、高温状態で放置したりしないでください。破裂などで火傷の原因となります。
- 付属の AC アダプターを、分解・改造しないでください。感電や火傷、化学物質による被害の原因となります。分解・改造した AC アダプター（当社での修理対応は除く）での本機の使用は、安全性や製品に関する保証ができません。



- AC アダプターを毛布や布団で覆わないでください。火傷・火災のおそれがあります。
- AC アダプターに強い衝撃や振動を与えたり、乱暴に扱ったりしないでください。また、破損した AC アダプターを使用しないでください。感電・火傷の原因となったり、発熱・発火・破裂のおそれがあります。万一、本機の落下などで強い振動や衝撃が加わり、AC アダプターが破損したり、変形したりした場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- AC アダプターの温度の高い部分に、長時間触れないでください。低温火傷の原因となります。


本機を使用する場合は、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

●ACアダプターで使用する時

- ACアダプターを長時間接続して使用すると、ACアダプター本体が少し熱を持ちますが、故障ではありません。
- ACアダプターは頻繁に抜き差ししないでください。
- 本機を使用しないときに、バッテリーが満充電状態になっている場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

●バッテリーで使用する時

- 省電力状態のまま長時間使用しない場合は、完全放電しないように気をつけてください。省電力状態でも電力が消費されています。

 p.82 「省電力機能」

- バッテリーだけで使用しているときに、動画再生時にコマ落ちしたり、アプリの動作が遅くなったりする可能性があります。このような場合には、省電力状態に移行しないように設定してください。

 p.84 「時間経過で移行させない」

●長期間使用しない時

- 長期間使用していない場合は、バッテリーが完全放電している可能性があります。バッテリーだけで本機を使用するときは必ず充電してから使用してください。
- バッテリーを長期間充電しないと、過放電になる可能性があります。予防のために定期的に充電をしてください。

 **制限**

- 本機をバッテリーだけで使用する際、プログラムの負荷状態によって、ビデオやCPUのパフォーマンスが低下することがあります。プログラムの負荷が高い作業をする場合は、ACアダプターを接続して本機をご使用ください。
- ACアダプターを接続して本機を使用する際、作業内容によっては、バッテリーの残量が低下することがあります。バッテリー残量が少なくなった場合は、作業をやめ、バッテリーを充電してください。

 **参考**

低温環境でのバッテリー性能

低温の環境では、バッテリーの性能が低下します。これは一時的なものであり、常温の環境に戻すと性能が回復します。

## バッテリーの使用可能時間


バッテリーだけで本機を使用できる時間は次のとおりです。ただし本機の使用環境や状態などによって変化します。

バッテリーの使用可能時間\* (満充電の場合)

連続 4.6 時間

\* JEITA (電子情報技術産業協会) の測定方法 Ver2.0 に基づいています。

本機をバッテリーだけで使用している場合は、使用可能時間が制限されます。省電力の設定を行うと使用可能時間を延ばすことができます。

 p.82 「省電力機能」

## バッテリーの充電

バッテリーの充電は、AC アダプター接続時に、本機の電源が入 / 切どちらの状態でも自動的に行われます。

### バッテリー充電時の電源ランプの表示

AC アダプター接続時の電源ランプの表示は、次のとおりです。

充電状態	ランプの表示
充電中	オレンジ点灯
満充電	緑点灯

#### 正常に充電されていない場合の対処


バッテリーが正常に充電されないときは、次の対処を行ってください。

- バッテリーを動作環境で充電する

動作環境（10～35℃）以外では、AC アダプターを接続して 10 時間以上経過すると、バッテリーが正常に充電できなくなります。

- カスタマーサービスセンターに連絡する

動作環境（10～35℃）で使用し、改善しない場合は、バッテリー異常が考えられます。

 『別冊』『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

### 充電時間

低バッテリー状態からバッテリーの充電完了までの時間は、次のとおりです。

電源入時：8.8 時間

電源切時：4.7 時間



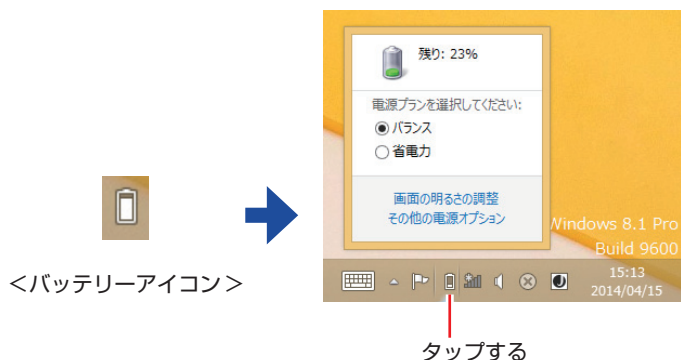
参考

#### 温度条件について

バッテリーは、化学反応を利用した電池です。このため、動作環境（10～35℃）以外では、充電速度が極端に遅くなる場合があります。その状態で 10 時間以上経っても充電が完了しないと、バッテリーへの充電が中止されます。

## バッテリー残量の確認

デスクトップ通知領域の「バッテリー」アイコンをタップすると、バッテリー残量を確認することができます。

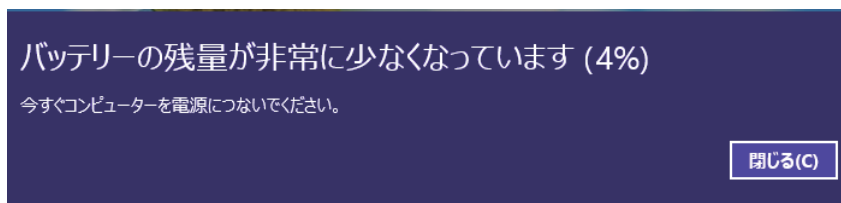


## バッテリー残量が少なくなったら

バッテリーの残量が低下した際の通知や対処方法などについて説明します。

### バッテリー低下の通知

バッテリー残量が少なくなり、「バッテリー低下」の状態になると、本機は次のように通知（警告）します。



バッテリー残量がさらに低下すると、本機は休止状態になります。

### 対処方法

バッテリー残量低下が通知されたら、すぐに次のどちらかの処置を行ってください。完全放電してシャットダウン（電源切断）してしまうと、保存していないデータはすべて失われます。

#### ● AC アダプターを接続する

電源を入れたまま AC アダプターを接続します。

#### ● 電源を切る

作業中のデータを eMMC に保存して、実行中のアプリを終了させたあと、本機の電源を切ります。




**制限**

AC アダプターを接続しない場合は、直ちに作業中のデータを保存してください。コンピューターがシャットダウンしてしまうと、保存していないデータはすべて失われます。

## バッテリーの容量がすぐに低下するときは

バッテリーは、消耗品です。満充電にしても、バッテリー容量がすぐに低下する場合は、バッテリーの寿命が考えられます。また、バッテリーの駆動時間が極端に短くなった場合は、内部に使用されている電池の消耗度合いにばらつきが発生している可能性があります。電池の消耗度合いにばらつきがあるバッテリーをそのまま使用し続けると、発熱、発火、破裂の原因となります。

バッテリーが消耗した場合は、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

## バッテリーを長くお使いいただくために

バッテリーは消耗品です。バッテリーの劣化は、使い方や使用環境によって大きく変わります。バッテリーの劣化を抑え、使用可能時間を延ばすため、次の事項に注意してください。

- 高温の環境では、バッテリーの劣化が早まります。本機を、炎天下の自動車の中や暖房機の近くなどで使用したり、放置したりしないでください。
- 低温の環境下では、バッテリーの性能が悪化します。これは一時的なものであり、常温の環境下に戻すと性能が回復します。
- コンピューターを使用する、使用しないにかかわらず、常時 AC アダプターを接続した状態は、バッテリーの劣化を早めます。1 ヶ月に 1 回程度、AC アダプターを外してコンピューターを起動してください。そのまま、バッテリー低下のアラームが通知されるまで使用してバッテリーを放電させた後、AC アダプターを接続してご使用ください。
- リチウムイオンバッテリーの場合、約 300 ～ 500 回の放電で、使用可能時間が初期値の約 50 ～ 70%になります。毎日充放電を繰り返すと、1 年程度で寿命となる場合があります。
- 使用可能時間はご使用環境によって変化し、1 年程度で初期値の 50%以下となる場合もあります。
- 上記数値は充放電回数を保証するものではありません。

# タッチパネルを操作する

本機のタッチパネルの操作方法について記載します。

## タッチパネルの操作

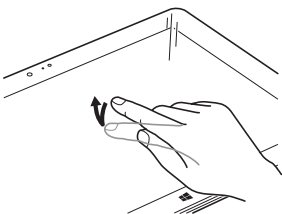
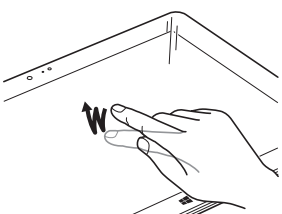
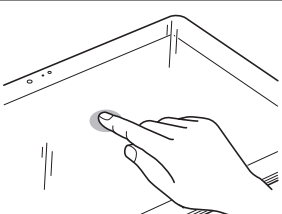
### タッチパネル使用時の注意

タッチパネルは、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

- 爪や、手袋を着用した指では、タッチパネルは操作できません。
- タップしたときにほかの場所が選択されたり、タップしても選択ができないような場合は、別の指や手の一部などがタッチパネルに触れていないか、確認してください。
- 使用するアプリによって、タッチパネル機能が使用できないことがあります。
- タッチパネル表面には、強化処理を施したガラスを使用していますが、取り扱いには十分ご注意ください。タッチパネルが割れた場合、ガラスの破片が飛び散ることがあります。
- 高いところから落とすなど、強い衝撃を与えないでください。
- 強くたたいたり、押したり、ボールペンなどの硬いもので触れたり、鋭利なもので傷をつけたりしないでください。傷が原因でガラスが割れることがあります。
- 製品の構造上、タッチパネル表面の温度が上がることがありますが、故障ではありません。

### タッチパネルの操作方法

本機の操作は、画面をタッチして行います。操作方法は、次のとおりです。

操作名	操作	マウスの場合	使用する場面
タップ	 1 回軽くタッチ	クリック	<ul style="list-style-type: none"><li>● スタート画面でタイルからアプリを起動する</li><li>● 文字の入力位置を指定する</li><li>● メニューの項目を選択する</li></ul>
ダブルタップ	 2 回軽くタッチ	ダブルクリック	<ul style="list-style-type: none"><li>● デスクトップでアイコンからアプリを起動する</li></ul>
タップアンドホールド	 画面をタッチし続ける	右クリック	<ul style="list-style-type: none"><li>● デスクトップで右クリックメニューを表示する</li></ul>

操作名	操作	マウスの場合	使用する場面
ドラッグ	 <p>タッチしたまま動かす</p>	ドラッグ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● タイルやアイコンを移動する</li> <li>● テキストの範囲を選択する</li> <li>● Windows ストア アプリを終了する  p.31</li> </ul>
スワイプ	 <p>画面上をスッと払うように指を動かす</p>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>● チャームを表示する  p.26</li> <li>● 起動中のアプリを切り替える  p.30</li> <li>● アプリ一覧を表示する  p.29</li> <li>● アプリコマンドを表示する  p.32</li> </ul>
ズーム	 <p>2本指で画面をつまみ(ピンチ)、開いたり閉じたりする</p>	 + スクロールボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 画面を拡大する / 画面を縮小する</li> </ul>
回転	 <p>2本指でタッチして回す</p>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オブジェクトを回転する</li> </ul>

## マウスで操作する

USB マウスや Bluetooth マウスを接続すると、マウスで画面操作することもできます。

 p.46 「USB 機器を使う」

 p.71 「Bluetooth 機能」

# ソフトウェアキーボードを使う

文字の入力は、ソフトウェアキーボードを使用して行います。

## ソフトウェアキーボードを表示する

ソフトウェアキーボードは次の場所から表示します。

- 設定メニューの「キーボード」 - 「タッチキーボードと手書きパネル」

 p.27 「設定メニュー」



- デスクトップ右下のキーボードアイコン

 p.29 「デスクトップ」



- 画面に表示されたテキストボックス





## キーの機能

ソフトウェアキーボードの主なキーを説明します。



かな入力のアイコンは、次の設定を行うと有効になります。

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「入力」  
- 「ハードウェアキーボードに…」を「オン」に設定

# eMMC の概要

本機には、記憶装置として eMMC が搭載されています。

## ！ 制限

- 本機を落としたり、ぶつけたりしてショックを与えると eMMC が故障するおそれがあります。ショックを与えないように注意してください。また、持ち運ぶときは、電源を切った状態で専用バッグに入れるなどして、保護するようにしてください。
- eMMC が故障した場合、eMMC のデータを修復することはできません。

## データのバックアップ

eMMC に記録されている重要なデータは、外付けの USB HDD などにバックアップしておくことをおすすめします。万一 eMMC の故障などでデータが消失してしまった場合でも、バックアップを取ってあれば、被害を最小限に抑えることができます。

## 購入時の eMMC 領域

購入時の eMMC は、お客様の選択により次のように設定されています。

※ パーティションスタイルは GPT に設定されています。

ドライブ(領域)	容量
システム	100MB
MSR	128MB
C ドライブ	残り
リカバリー	32GB モデル：8GB 64GB モデル：10GB

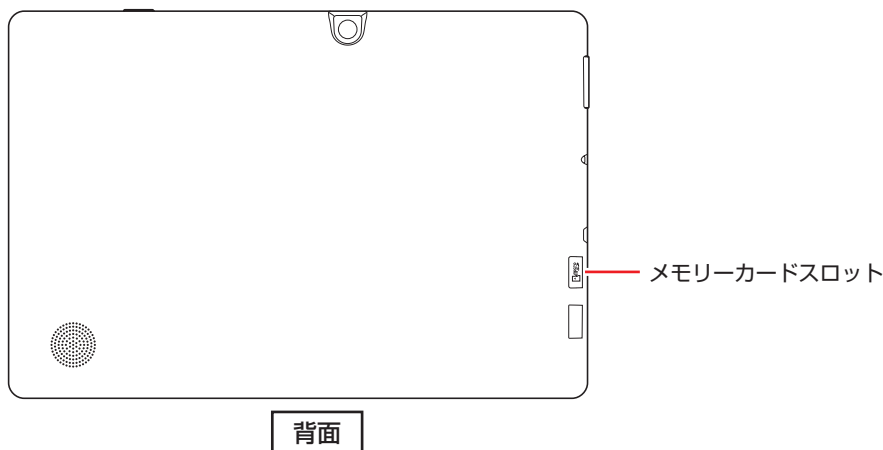
## リカバリー領域

「リカバリー領域」には、PC のリフレッシュのためのデータが設定されています。この領域を削除すると再インストールができなくなりますので、ご注意ください。

# メモリーカードを使う

本機背面にはメモリーカードスロットが装備されています。

メモリーカードは、デジタルカメラなどで使用するメディアで、コンピューターとのデータ交換に使われます。



## 本機で使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは、Micro SD メモリーカードです。イラストはイメージです。



Micro SD メモリーカード <SDHC/SDXC 対応 >\*

\*記載は対応規格であり、すべてのカードでの動作を保証するものではありません。




制限

著作権保護機能には対応していません。

## メモリーカード使用時の注意

メモリーカードは、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

- メモリーカードアクセス中に、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。カードのデータが破損するおそれがあります。
- メモリーカードは、データの書き込み中に電源の供給が停止すると不具合が発生する可能性があります。メモリーカードを使用するときは、省電力状態に移行しないように設定してください。  
 p.84 「時間経過で移行させない」
- 記録されているデータによっては、読み込み時に専用のアプリが必要になる場合があります。詳しくは、データを作成した周辺機器またはアプリのマニュアルをご覧ください。

## メモリーカードのフォーマット

メモリーカードのフォーマットは必ず、メモリーカードを使用するデジタルカメラなどの周辺機器側で行ってください。本機でフォーマットを行うと、周辺機器でメモリーカードが認識されなくなる場合があります。

フォーマットの方法は、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

## メモリーカードのセットと取り出し

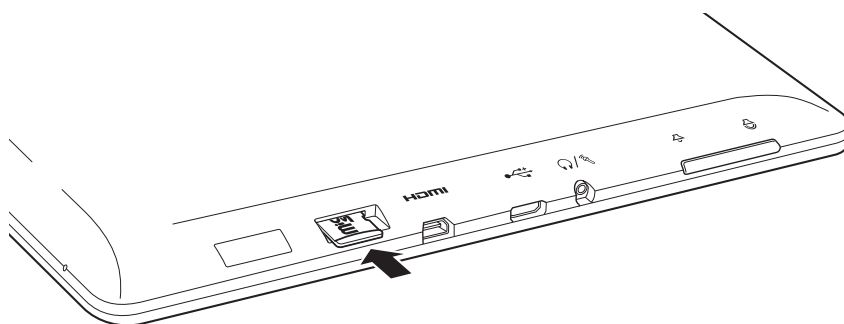
メモリーカードのセットと取り出し方法について説明します。

### メモリーカードのセット

メモリーカードのセット方法は、次のとおりです。

- 1** メモリーカードの端子面を LCD 画面側（ラベル面を背面側）にして、本機背面のメモリーカードスロットに挿入します。

爪の先でカードを奥までしっかりと押し込みます。



- 2** 認識されると、メモリーカードが使用できます。

正しくセットされると、デスクトップ通知領域の [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されます。



## メモリーカードの取り外し

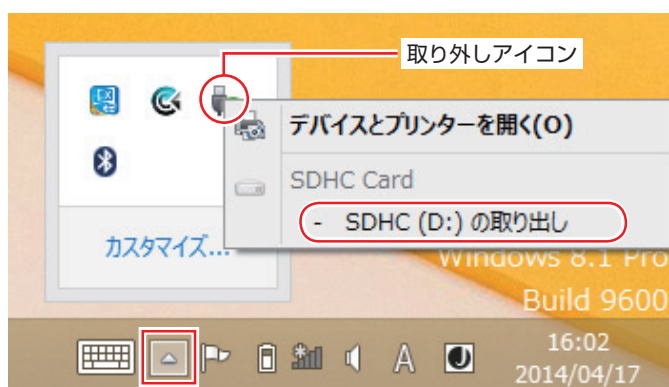
メモリーカードの取り外し方法は、次のとおりです。

### 1 メモリーカードの終了処理を行います。

本機の電源を切った場合、終了処理は不要です。2に進みます。

- 1 開いているファイルを閉じます。  
ファイルを閉じないと、終了処理ができません。
- 2 デスクトップ通知領域の [△] - 「取り外し」アイコンをタップします。
- 3 表示されたメニューから、「(取り出したいメモリーカード) の取り出し」を選択します。

複数の機器が表示される場合は、別の機器を選択しないよう注意してください。



「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、終了処理は完了です。

### 2 メモリーカードを取り外します。

- 1 爪の先でメモリーカードを「カチッ」と音がするまで押します。
- 2 少し出てきたメモリーカードをまっすぐに引き抜きます。

取り出したメモリーカードは、専用のケースなどに入れて大切に保管してください。

# USB 機器を使う

本機左側面には Micro USB 2.0 コネクタが 1 個搭載されています。



**制限**

接続した USB 機器によっては、本機の電源を切った状態でも、ランプが光り続けます。これは、お使いの USB 機器の仕様です。

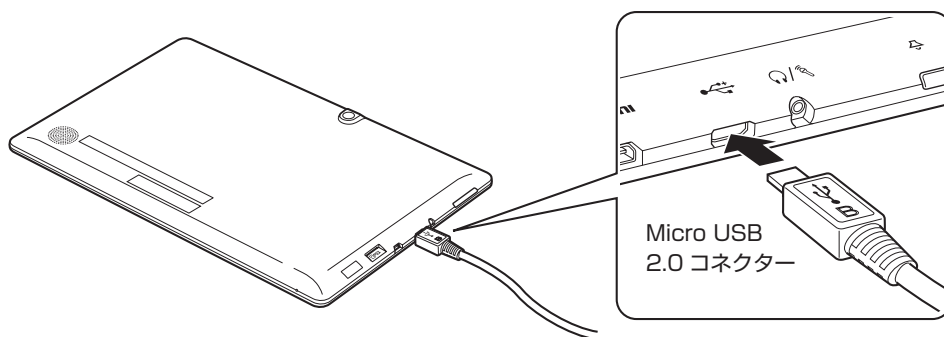
## USB機器の接続と取り外し

USB 機器の接続・取り外しは、本機の電源が入っている状態で行うことができます。

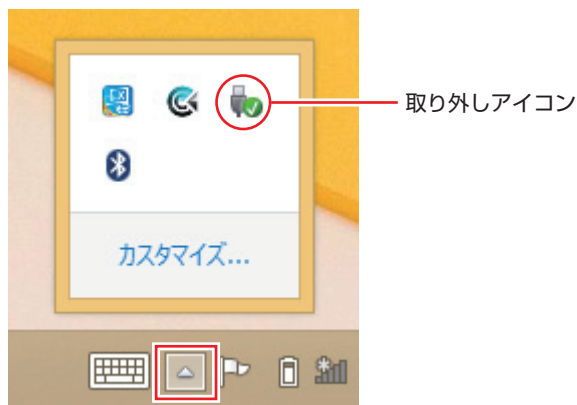
### 接続

USB 機器の接続方法は、次のとおりです。

- 1** USB 機器を、本機左側面の Micro USB 2.0 コネクタ（）に接続します。接続する機器によっては Micro USB 変換ケーブル（オプション）を使用してください。



- 2** USB 機器によっては、デスクトップ通知領域の [△] - 「取り外し」アイコンが表示されます。



接続する USB 機器によっては、専用のデバイスドライバーが必要です。詳しくは USB 機器のマニュアルをご覧ください。

## 取り外し

USB 機器の取り外しは、コンピューターの状態を確認して、次のどちらかの方法で行います。

- そのまま取り外す

デスクトップ通知領域の [△] - 「取り外し」アイコンが表示されていない場合や、本機の電源を切った場合はそのまま取り外せます。

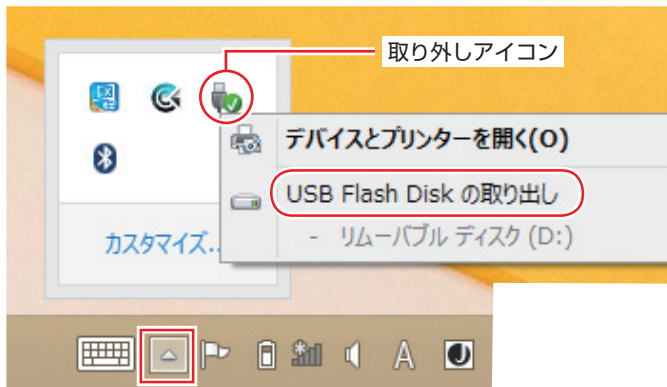
- USB 機器の終了処理をして取り外す

デスクトップ通知領域の [△] - 「取り外し」アイコンが表示されている場合は、終了処理を行います。

USB 機器の終了処理と取り外しの手順は、次のとおりです。

- 1** デスクトップ通知領域の [△] - 「取り外し」アイコン - 「(取り外したい USB 機器)の取り出し」をタップします。


複数の機器が表示される場合は、別の機器を選択しないよう注意してください。



「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、終了処理は完了です。

- 2** 機器を本機から取り外します。

# 画面表示機能

ここでは、本機の LCD ユニットでの画面表示について説明します。  
本機では、LCD ユニットのほかに外付けの表示装置を接続することもできます。  
 p.51 「外付けディスプレイを使う」

## LCD ユニットの仕様

本機では次の LCD（液晶ディスプレイ）を搭載しています。

LCD	最大解像度
10 型	1280 × 800

### 制限

LCD の表示中に、次の現象が起きることがあります。これは、カラー LCD の特性で起きるもので故障ではありません。

- LCD は、高精度な技術を駆使して 100 万以上の画素から作られています。画面の一部に常時点灯または常時消灯する画素が存在することがあります。
- 色の境界線上に筋のようなものが現れることがあります。
- Windows の背景の模様や色、壁紙などによってちらついて見えることがあります。この現象は、背景の模様が市松模様や横縞模様といった特殊なパターンで、背景の色が中間色の場合に発生しやすくなります。

### 参考

#### LCD のドット抜け基準値

本機 LCD のドット\*抜け基準値は、8 個以下です。これは全ドットの 0.00027% 以下に相当します。

\*「ドット」は副画素（サブピクセル）を指します。LCD では、1 個の画素が 3 個の副画素で構成されています。

本書に記載しているドット抜け基準値は、ISO13406-2 に従って、副画素単位で計算しています。

副画素数：3,072,000 個



## LCDユニットの調整

### 画面の明るさ調整

本機の画面の明るさ（輝度）の調節は、次の場所で行います。

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「ディスプレイ」



画面の明るさ（輝度）は、使用する場所の明るさに応じて自動調整されるように設定することもできます。自動調整は、次の場所で設定します。

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「電源とスリープ」 - 「明るさ」

### 表示に関する各種設定

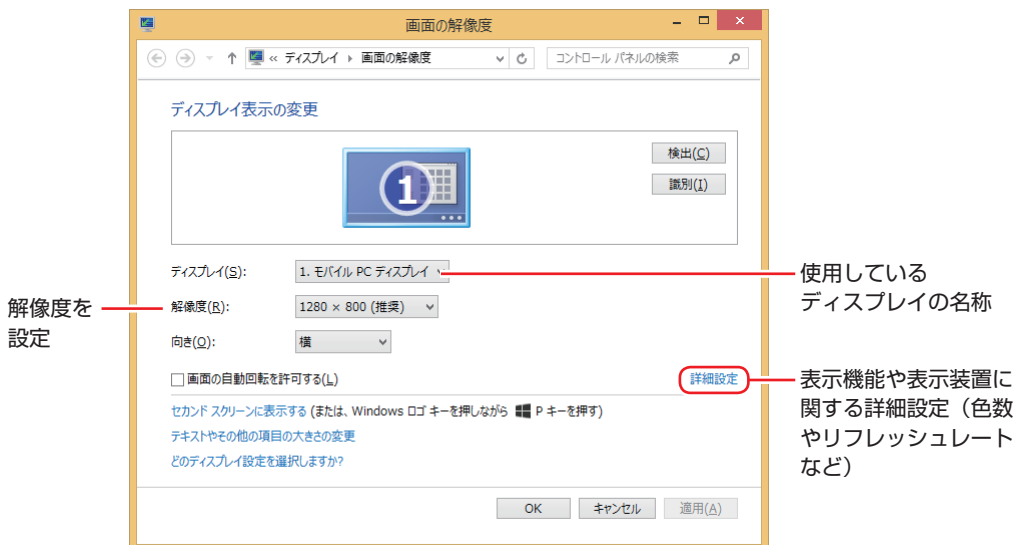
画面表示に関する設定は次の場所で行います。

#### 簡易設定

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「ディスプレイ」

#### 詳細設定

デスクトップ上の何も無いところをタップアンドホールド - 「画面の解像度」



<イメージ>

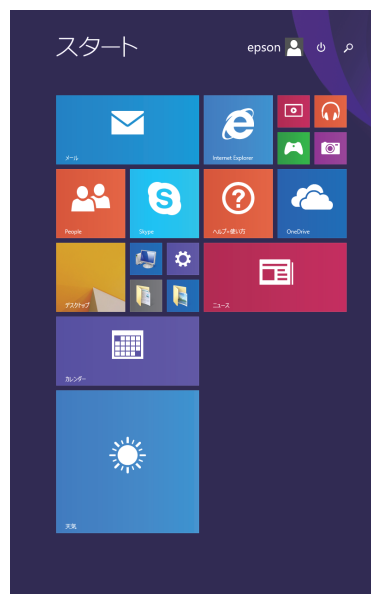
## 画面を回転する

本機を回転させると、縦表示と横表示を切り替えることができます。地面方向（重力方向）が画面の下側になります。

- アプリによっては縦表示に対応していない場合があります。正常に動作しない場合は、横表示で使ってください。
- 動画再生中など、アプリを終了せずに回転機能を使うと、保存されていないデータが失われるおそれがあります。
- スクリーンセーバーの起動中に回転機能を使うと、画面が乱れる場合があります。
- 外部ディスプレイを接続している場合は、横表示に固定されます。また、縦表示で使用中に外部ディスプレイを接続すると、画面は横表示に戻ります。



<横表示>



<縦表示>

## 画面自動回転のオン / オフ切り替え

画面自動回転のオン / オフ切り替えは、次の場所で行います。

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「ディスプレイ」



# 外付けディスプレイを使う

本機では、外付けディスプレイを接続して、画面を表示することができます。

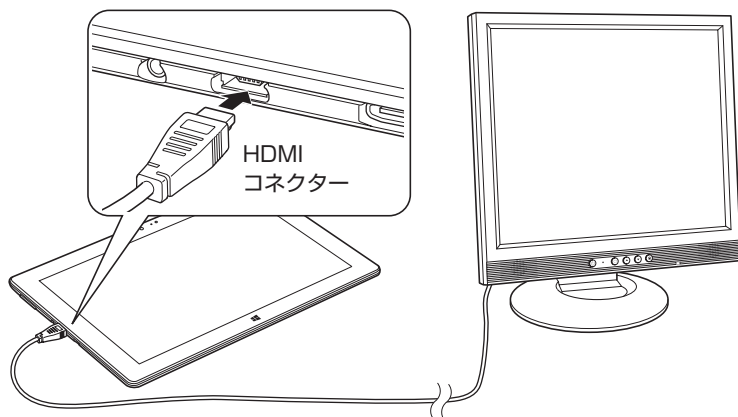
## ディスプレイの接続

本機左側面には、Micro HDMI コネクターが搭載されており、外付けディスプレイを接続することができます。

### 外付けディスプレイの接続

外付けディスプレイの接続方法は、次のとおりです。

- 1** 本機と外付けディスプレイの電源を切ります。
- 2** 外付けディスプレイと本機左側面の Micro HDMI コネクター ( **HDMI** ) を、Micro HDMI ケーブル ( オプション ) で接続します。  
HDMI 接続では、デジタル画像と音声を出力します。



- 3** 外付けディスプレイと本機の電源を入れます。



参考

- 音声出力先を変更する

音声出力先を変更したい場合は、[p.57](#) 「音声出力先の設定」をご覧ください。

- 外付けディスプレイへの表示を終了する

外付けディスプレイへの表示が終了したら、Windows を終了後に必ず接続ケーブルを取り外してください。外付けディスプレイの電源が入っていても、ケーブルを接続しているだけで自動認識され、信号が出力されます。

### プロジェクターの接続

プロジェクターの接続方法は、プロジェクターのマニュアルをご覧ください。

## 画面表示の種類

本機では、次のような画面の組み合わせで表示ができます。

- PC 画面のみ

本機のディスプレイのみに表示します。

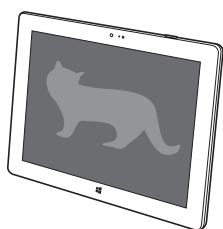
- セカンドスクリーンのみ

外付けディスプレイのみに表示します。

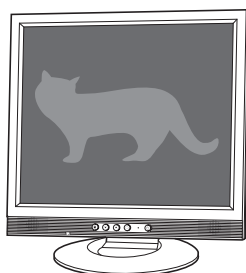
※本機にマウスを接続して使用してください。

- 複製

2つのディスプレイに同じ画面を表示します。プレゼンテーションを行う場合などに便利です。



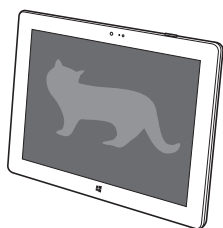
< LCD 画面 >



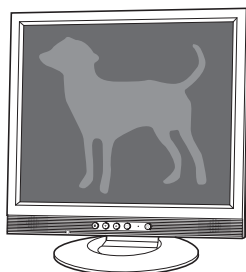
< 外付けディスプレイ >

- 拡張

2つのディスプレイに対して、個別に設定をすることができます。複数の画面をコンピュータ上に表示する場合に便利です。



< LCD 画面 >



< 外付けディスプレイ >

## 画面表示を切り替える

画面表示の切り替え方法は、次のとおりです。



**制限**

解像度の異なるディスプレイを接続して複製に切り替えると、解像度は低い方の解像度で表示されます。

- 1** チャームを表示 - 「デバイスチャーム」 - 「表示」 - 「セカンドスクリーン」をタップします。
- 2** 一覧から表示方法を選んでタップします。



## 外付けディスプレイで表示できる解像度と表示色

外付けディスプレイで表示できる解像度と表示色は、次のとおりです。

### ●解像度

1024 × 768  
1280 × 720 \*  
1280 × 768 \*  
1280 × 800 \*  
1280 × 1024  
1360 × 768 \*  
1366 × 768 \*  
1400 × 1050  
1440 × 900 \*  
1600 × 900 \*  
1600 × 1200  
1680 × 1050 \*  
1920 × 1080 \*  
1920 × 1200 \*

\* ワイド表示

### ●表示色

32 ビット

#### ! 制限

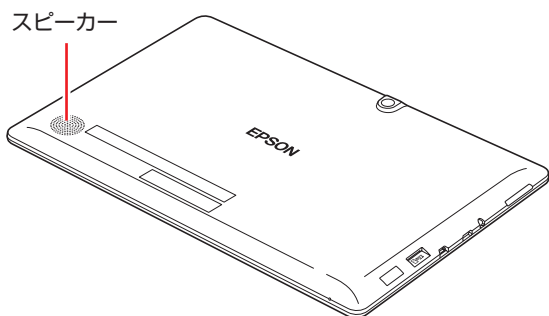
- 記載している解像度は、本機に搭載されたビデオコントローラーの出力解像度です。表示画面の種類や接続する外付けディスプレイの仕様によっては、表示できない場合があります。
- 複製表示の場合、実際に表示できる最大解像度は、コンピューター側の最大解像度と外付けディスプレイの最大解像度のうち、どちらか低い方になります。
- 解像度や表示色が高いと、動画再生アプリで動画を再生するときに、正常に表示できないことがあります。そのような場合は、解像度または表示色を調節してみてください。

# サウンド機能

本機には、サウンド機能が搭載されています。

## スピーカー

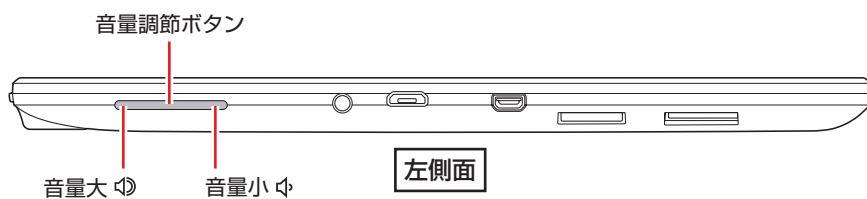
本機背面には、スピーカーが内蔵されており、音源からの音声を出力することができます。



## 音量の調節

スピーカーの音量は、次の場所で調節します。

- 本機左側面の音量調節ボタン



- 設定メニューのスピーカーアイコン

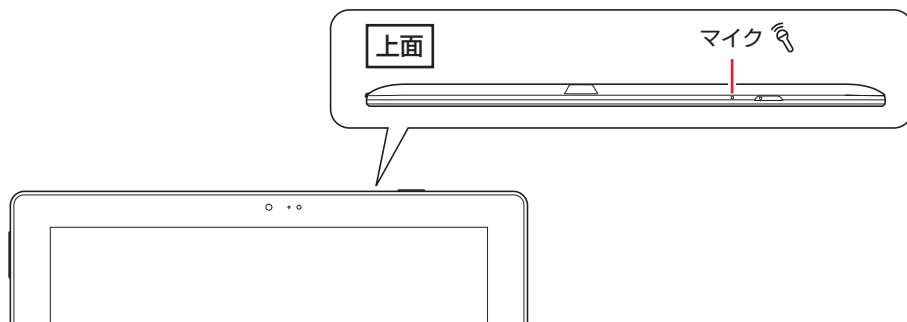
 p.27 「設定メニュー」



<スピーカーアイコン>

## マイク

本機上面には、マイクが内蔵されており、音声を録音することができます。



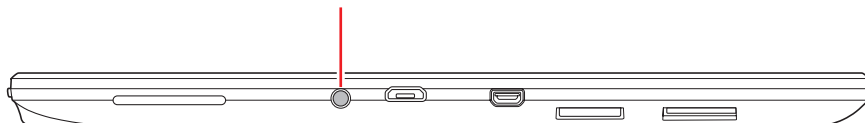
## オーディオ機器の接続

本機左側面には、オーディオ機器（ヘッドホン、スピーカー、マイクなど）を接続するためのコネクタが搭載されています。



ヘッドホンやスピーカーは、ボリュームを最小に調節してから接続し、接続後に音量を調節してください。  
ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量が聴覚障害の原因となります。

### ● コンボオーディオコネクタ



左側面

Micro HDMI コネクタについては、 p.51 「外付けディスプレイを使う」をご覧ください。

### 制限

コンボオーディオコネクタには、3 極ミニプラグのヘッドホンや 4 極ミニプラグのスマートフォン用ヘッドホンマイク（CTIA 規格）を接続して使用できます。



< 4 極ミニプラグ >

3 極ミニプラグのマイク（ステレオ、モノラル）は使用できません。

### 参考

#### ● ヘッドホンやスピーカーを接続したら

コンボオーディオコネクタにヘッドホンやスピーカーを接続すると、自動的に接続した機器が使用可能になり、内蔵スピーカー機能は無効になります。

#### ● マイクを接続したら

コンボオーディオコネクタにマイクを接続すると、自動的に接続したマイクが使用可能になり、内蔵マイク機能は無効になります。

#### ● HDMI 機器を接続したら

HDMI コネクタに機器を接続した場合は、音声出力先の設定が必要です。

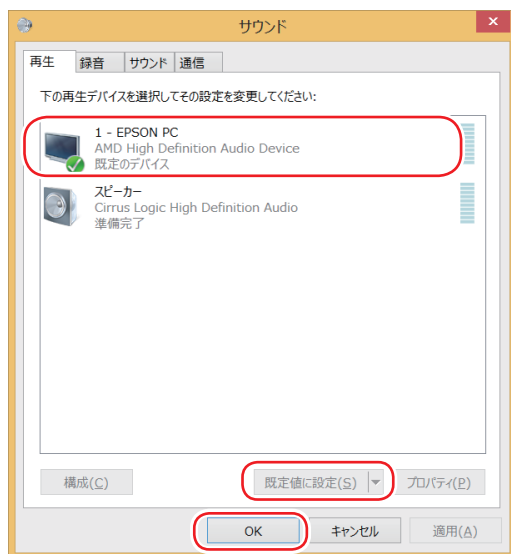
 p.57 「音声出力先の設定」



## 音声出力先の設定

購入時、本機の音声出力先は内蔵スピーカーに設定されています。  
HDMI 機器へ音声を出力したい場合は、音声出力先を変更してください。

- 1 [デスクトップ] - 「設定チャーム」 - 「コントロール パネル」 - 「ハードウェアとサウンド」 - 「サウンド」をタップします。
- 2 「サウンド」画面が表示されたら、「再生」タブで HDMI 機器を選択し、「既定値に設定」をタップします。



<イメージ>

音声出力先に設定されると、機器のアイコンにチェックが付きます。

- 3 [OK] をタップします。  
これで設定は完了です。HDMI 機器から音声が出力されます。

# 無線 LAN 機能

本機には無線 LAN アダプターが内蔵されています。  
無線 LAN とは、電波を利用して通信を行うネットワークのことです。

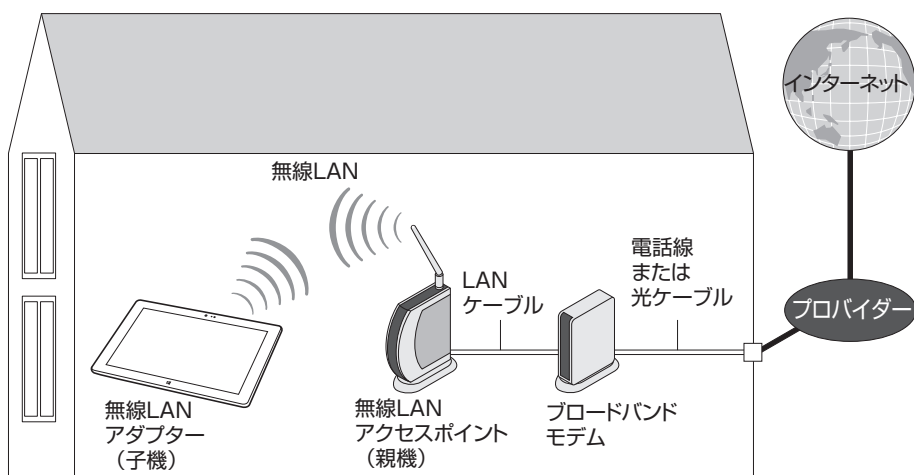
## 準拠規格

本機に内蔵されている無線 LAN アダプターは、次の規格に準拠しています。

- IEEE802.11b/g/n

## 無線LANの概要

無線 LAN の概要を図で表すと、次のようになります（図は一例です）。



## 無線 LAN の用語一覧

無線 LAN 機器のマニュアルにより、使用している用語が本書と異なる場合があります。下記の用語一覧を参考にしてください。

本書での表記	別名
無線 LAN	ワイヤレス LAN
無線 LAN アクセスポイント	親機、ワイヤレス LAN ステーション、アクセスポイント、各社の製品名称
無線 LAN アダプター	子機、ワイヤレスステーション、無線 LAN 端末、無線 LAN クライアント
SSID	ESS-ID、ESSID、ネットワーク名、サービスセット識別子
SSID 非通知	SSID の隠蔽、SSID を見せない設定、SSID マスクビーコン、SSID ステルス、ステルス AP、ステルス機能、ANY 接続拒否
MAC アドレスフィルタリング	MAC アドレスによる制限


## 無線LAN使用時の注意

無線 LAN を使用する際は、次の注意事項をよくお読みください。




- 無線 LAN 機能が搭載されている場合、航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。  
電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。  
また、本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。
- 無線 LAN 機能が搭載されている場合、医療機関の屋内で本機を使用するときは、次のことを守ってください。
  - ・手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視室（CCU）には、本機を持ち込まない。
  - ・病棟内では、本機の電源を切るか電波を停止する。
  - ・病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、本機の電源を切るか電波を停止する。
  - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
  - ・本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切る。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、無線 LAN 機能を使用するときは、装着部と本機の間を 22cm 以上離してください。  
電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。  
満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、本機の電源を切るか電波を停止してください。
- 無線 LAN 機能は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。  
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

### 制限

- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、サーバーから切断されてしまうことがあります。  
このような場合は次のいずれかの方法をとってください。
  - ・再起動する
  - ・省電力状態に移行しないように設定する  
 p.84 「時間経過で移行させない」
- ネットワーク上のファイルなどを開いている状態で省電力状態に移行すると、通常の状態に復帰できない場合があります。
- 本機の無線 LAN 機能は、Wakeup On LAN とリモートブートには対応していません。

## 電波に関する注意

無線 LAN は、次の電波に関する注意事項を確認して正しくお使いください。

- 本機には認証を取得した無線設備が内蔵されており 2.4GHz (802.11b/g/n) の周波数帯を使用します。
- 本機の無線設備は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として技術基準適合証明を受けているため、本機を分解／改造しないでください。なお、日本国内でのみ使用できます。
- 2.4GHz の周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と称す）が運用されています。
  - 1 本機の無線設備をご使用になる前に、近くで「他の無線局」が使用されていないことを確認してください。
  - 2 万一、本機の無線設備と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所または使用無線チャンネルを変えるか、運用（電波の発射）を停止してください。
  - 3 電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときには、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。

## 無線LAN機能のオン/オフ方法

無線 LAN 機能のオン / オフ方法について説明します。



無線 LAN 機能が搭載されている場合、航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。  
電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。  
また、本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。



制限

バッテリーのみで本機を使用している場合、無線 LAN 機能がオンになっていると、バッテリー駆動時間が短くなります。  
無線 LAN を使用しない場合は、無線 LAN 機能をオフにしてください。

無線 LAN 機能のオン / オフは、次の方法で行います。

- 1** 画面外右端から左へスワイプし、チャームを表示します。
- 2** 設定チャームをタップします。  
設定メニューが表示されます。

- 3** 機内モードがオンの場合は「機内モードアイコン」を、機内モードがオフの場合は「無線 LAN アイコン」をタップします。



<機内モードアイコン>



<無線 LAN アイコン>

- 4** ネットワークのメニューが表示されたら、「Wi-Fi」のバーをタップします。  
バーをタップするたびに無線 LAN 機能のオン / オフが切り替わります。

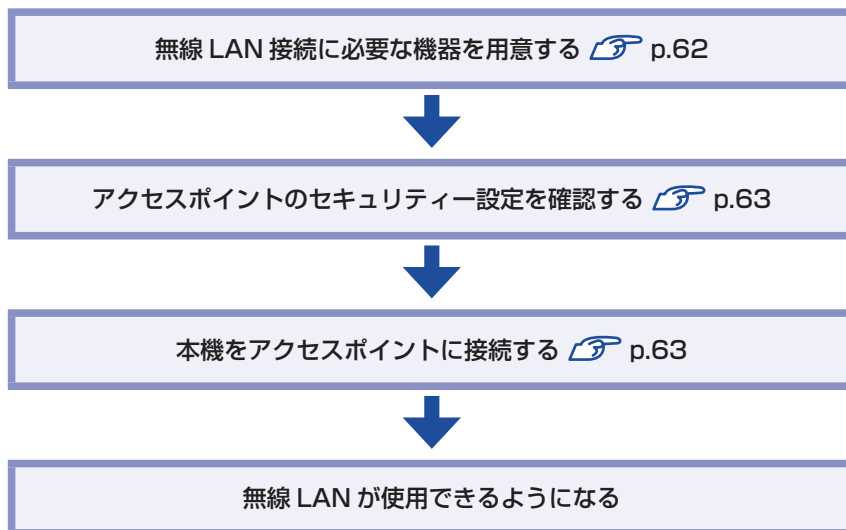


機内モードをオン / オフした場合は、同時に Bluetooth 機能 (p.73) と GPS 機能 (p.88) もオン / オフされます。

## 無線LAN接続の設定をする

ここでは無線 LAN アクセスポイント（以降、アクセスポイント）と本機を無線でつなげる方法（無線 LAN 接続方法）について説明します。

無線 LAN 接続の設定の流れは、次のとおりです。



参考

アクセスポイントのマニュアルに従って接続する

アクセスポイントによっては、アクセスポイントのマニュアルの記載に従って設定すると、簡単に無線 LAN 接続をすることができます。

まずは、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

## 無線 LAN 接続に必要な機器を用意する

無線 LAN 接続に必要な機器を用意します。

### ●無線 LAN アクセスポイント

本機と無線で通信するための機器です。本機の対応規格に合ったものをご購入してください。アクセスポイントにはルーター付きとルーターなしがあります。接続するブロードバンドモデムにルーター機能がない場合は、ルーター付きを選択します。

### ●ブロードバンドモデム（ADSL 用や光ファイバー用の通信装置）

インターネットに接続する場合に必要です。多くの場合、プロバイダーと契約すると貸与されます。

### ●LAN ケーブル

ブロードバンドモデムとアクセスポイントを接続するのに使用します。

## アクセスポイントのセキュリティー設定を確認する

無線 LAN は電波を使用して通信するため、第三者に侵入されたり、通信データを盗み見されたりする可能性があります。また、他人のアクセスポイントに誤って本機を接続してしまう可能性もあります。これらのことを防ぐため、アクセスポイントのセキュリティー設定を、本体側にも設定します。

アクセスポイントのマニュアルを参照し、セキュリティー設定(暗号化キー)を確認してください。セキュリティー設定がされていない場合は、マニュアルの手順に従って、設定を行ってください。

## 本機をアクセスポイントに接続する

アクセスポイント側に設定されている暗号化キーを本機側にも入力し、本機をアクセスポイントに接続します。

### 1 本機の無線 LAN 機能をオンにします。

 p.60 「無線 LAN 機能のオン / オフ方法」

### 2 アクセスポイントに接続します。

#### 1 設定メニューの無線 LAN アイコンをタップします。



<無線 LAN アイコン>

#### 2 アクセスポイントの一覧が表示されたら、接続するアクセスポイント(設定した SSID) をタップし、[接続] をタップします。



<イメージ>

- ③ ネットワークセキュリティキーの入力ボックスが表示されたら、アクセスポイントに設定した暗号化キーを入力し、[次へ] をタップします。

※ルーターの PIN 入力画面が表示された場合は、ルーターのラベルに印字された PIN を入力してください。



これで接続作業は完了です。

### ネットワークプロファイル

ここで設定した無線 LAN は、「ネットワークプロファイル」として自動的に保存されます。ネットワークプロファイルが作成されていると、次回からは設定を行わずに簡単に無線 LAN に接続することができます。

## 無線LANを使う

無線 LAN 接続の設定が完了すると、次回からは無線 LAN 機能をオンにするだけで自動的にアクセスポイントに無線 LAN 接続することができます。

## インターネット接続の設定

インターネットに接続する場合は、プロバイダーから提供されたマニュアルをご覧になり、設定を行ってください。



## 強固なセキュリティー設定をする

無線 LAN のセキュリティー機能には、ほかにも次のようなものがあります。

- MAC アドレスフィルタリング
- SSID 非通知

セキュリティーをさらに強固にしたい場合は、必要に応じて設定を行ってください。アクセスポイントによっては上記の機能に対応していないものもあります。詳しくはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。


### MAC アドレスフィルタリング

MAC アドレスとは、ネットワーク機器に割り当てられている固有の番号のことです。MAC アドレスフィルタリングをすると、接続を許可した MAC アドレスを持つコンピューター以外はアクセスポイントに接続できないようになります。

MAC アドレスフィルタリングの方法は、次のとおりです。

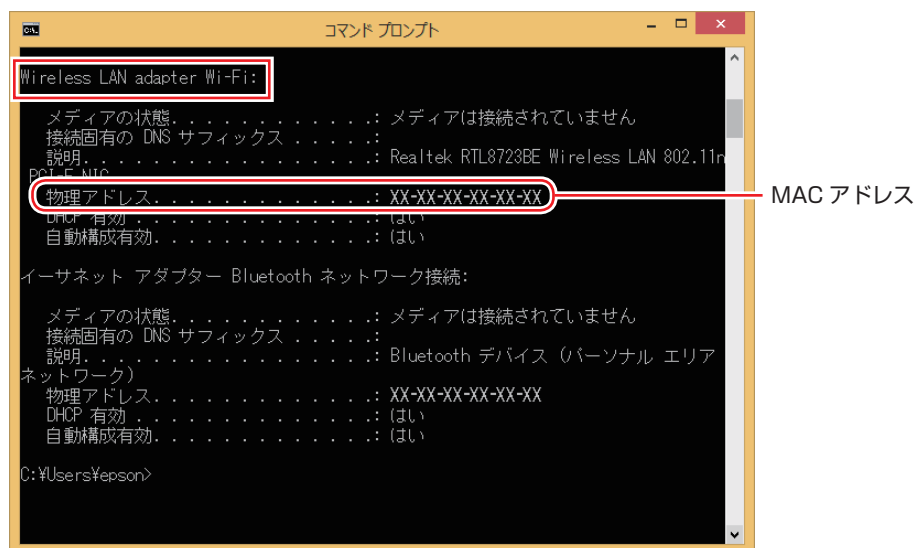
#### MAC アドレスの確認

本機の MAC アドレスを確認します。

- 1 アプリ検索で「コマンドプロンプト」を起動します。
- 2 コマンドプロンプトが表示されたら、「C: ¥ . . . >」のあとに次のとおり入力し、を押します。

ipconfig □ /all (□はスペースを意味します)

- 3 「コマンドプロンプト」画面が表示されたら、画面をスクロールし、「Wireless LAN adapter Wi-Fi」項目の「物理アドレス」(MAC アドレス)を確認します。



<イメージ>



**4**  をタップして、コマンドプロンプトを閉じます。

MAC アドレスは、次の場所でも確認できます。

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「ネットワーク」 - 「接続」  
- 「WiFi アイコン」 - 「プロパティ」の「物理アドレス」


MAC アドレスの英数値を下記の表に記入しておきましょう。

MAC アドレスフィルタリングの設定時に使用します。

MAC アドレス	
----------	--

## MAC アドレスフィルタリングの設定


アクセスポイントで MAC アドレスフィルタリングの設定をします。

- 1** アクセスポイントのマニュアルに従って、MAC アドレスフィルタリングの設定をします。
- 2**  p.63「本機をアクセスポイントに接続する」で一度接続ができていれば、すぐに無線 LAN 接続をすることができます。


## SSID 非通知


SSID 非通知の設定を行うと、コンピューター側に SSID が表示されなくなります。他人にアクセスポイント (SSID) が見えなくなるため、無断接続を防ぐことができます。

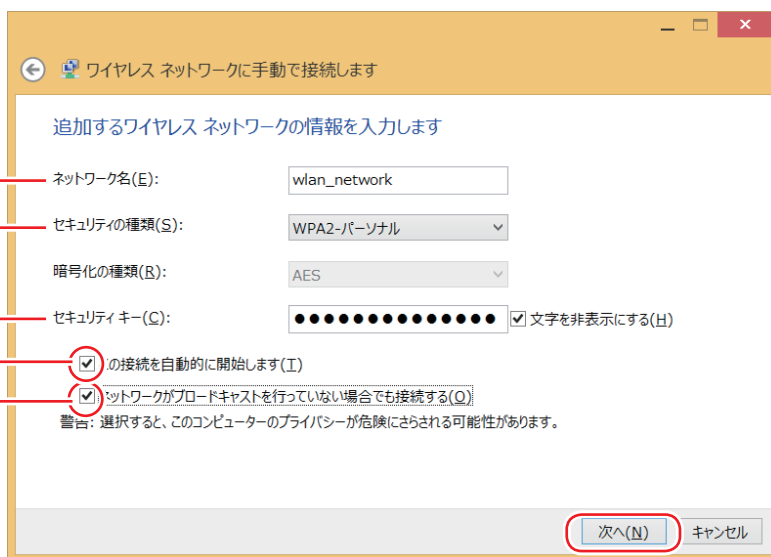
SSID 非通知の設定方法は、次のとおりです。

- 1** アクセスポイントのマニュアルに従って、SSID 非通知の設定をします。
- 2**  p.63「本機をアクセスポイントに接続する」で一度接続ができていれば、すぐに無線 LAN 接続をすることができます。  
まだ接続ができていない場合は、次の手順で接続してください。

## SSID 非通知の状態では本機をアクセスポイントに接続する

初めて本機をアクセスポイントに接続するとき SSID 非通知の設定がされていると、本機にアクセスポイント (SSID) が表示されないため、 p.63「本機をアクセスポイントに接続する」の方法では接続ができません。次の方法で設定をすべて手動で入力して、ネットワークプロファイルを作成してください。

- 1** 本機の無線 LAN 機能をオンにします。  
 p.60「無線 LAN 機能のオン / オフ方法」
- 2** [デスクトップ] - [設定チャーム] - [コントロール パネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] をタップします。
- 3** 「ネットワークと共有センター」画面が表示されたら、「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をタップします。
- 4** 「接続オプションを選択します」と表示されたら、「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択して [次へ] をタップします。
- 5** 「追加するワイヤレスネットワークの情報を入力します」と表示されたら、アクセスポイントに設定したセキュリティー情報を入力します。




<イメージ>

- 1** 「ネットワーク名」に SSID を入力します。
- 2** 「セキュリティーの種類」で暗号化方式を選択します。
- 3** 「セキュリティーキー」に暗号化キーを入力します。
- 4** 「この接続を自動的に開始します」にチェックを付けます。
- 5** 「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」にチェックを付けて、[次へ] をタップします。



- 6** 「正常に…を追加しました」と表示されたら、[閉じる] をタップします。
- 7** ファイアウォールを有効に戻します。  
設定方法は、使用されているセキュリティアプリのヘルプをご覧ください。
- 8** ブロードバンドモデムに接続されている電話線や光ケーブルを抜いていた場合は、元に戻します。  
これで接続作業は完了です。

## 複数の無線LAN環境を登録する

複数の無線 LAN 環境（職場やホットスポットなど）の設定を事前に登録しておきたいときは、手動入力で作成します。  
手動入力で作成する方法は、 p.67「SSID 非通知の状態でも機をアクセスポイントに接続する」をご覧ください。

## ネットワーク切替えツールを使う

会社や自宅など、複数のネットワーク環境で本機をご使用の場合、「ネットワーク切替えツール」を使って、接続するネットワークの設定を簡単に切り替えることができます。  
購入時、ネットワーク切替えツールはインストールされていません。使用する場合は、次の場所からインストールしてください。

アプリ一覧 (p.29) の「おすすめアプリケーションのインストール」

## プロファイルの登録

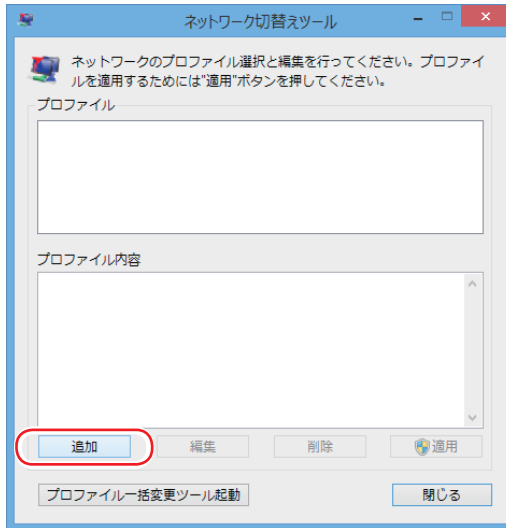
ネットワーク切替えツールでは、ネットワーク環境の設定をプロファイルとして管理します。複数のネットワーク環境をプロファイルに登録して使用します。  
※複数の無線 LAN 環境設定を登録できますが、アクセスポイントの切り替えを行うことはできません。

プロファイルを登録する手順は、次のとおりです。  
プロファイルの登録は、登録するネットワークに接続した状態で行ってください。

- 1** 登録するネットワークに接続します。
- 2** アプリ一覧 (p.29) の [ネットワーク切替えツール] をタップします。



- 3 「プロフィールが登録されていません。…」と表示されたら、[OK] をタップします。  
プロフィールがない場合にのみ表示されます。
- 4 「便利な使い方」と表示されたら、記載された手順に従ってデスクトップのタスクバーにアイコン表示を固定させるための作業を行い、[OK] をタップします。
- 5 「ネットワーク切替えツール」画面が表示されたら、[追加] をタップします。  
以降は、画面の指示に従って、プロフィールを登録してください。



## プロフィールの切り替え

必要なプロフィールを登録した後は、ネットワークの接続先に応じて、「ネットワーク切替えツール」でプロフィールを切り替えます。  
切り替え手順は、次のとおりです。

- 1 切り替えたいネットワークに接続します。
- 2 アプリ一覧 (p.29) の [ネットワーク切替えツール] か、デスクトップにピン留めした「ネットワーク切替えツール」アイコンをタップして、「ネットワーク切替えツール」画面を表示したら、接続したネットワークのプロファイルを選択して、[適用] をタップします。



<タスクバーのネットワーク切替えツールアイコン>

タスクバーの「ネットワーク切替えツール」アイコンをタップアンドホールドして、表示された一覧からプロフィールを選択することもできます。



**3** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をタップします。

選択したプロファイルのネットワーク設定への切り替えが開始されます。

**4** 「ネットワーク設定の切替えを完了しました。」と表示されたら、[OK] をタップします。

## プロファイル一括変更ツール

ネットワーク切替えツールに登録したプロファイルの情報を一括で変更することができます。「プロファイル一括変更ツール」は、ネットワーク切替えツールに登録したプロファイルの情報を一括で変更するツールです。

「プロファイル一括変更ツール」の起動方法は次の2つです。

- 「ネットワーク切替えツール」を起動して、画面の [プロファイル一括変更ツール起動] をタップ
- 「ネットワーク切替えツール」画面が表示されていないことを確認して、「ネットワーク切替えツール」アイコンをタップアンドホールドして表示された一覧から「プロファイル一括変更ツール」をタップ

プロファイル一括変更ツールが起動したら、画面の指示に従って、プロファイル設定の一括変更を行ってください。

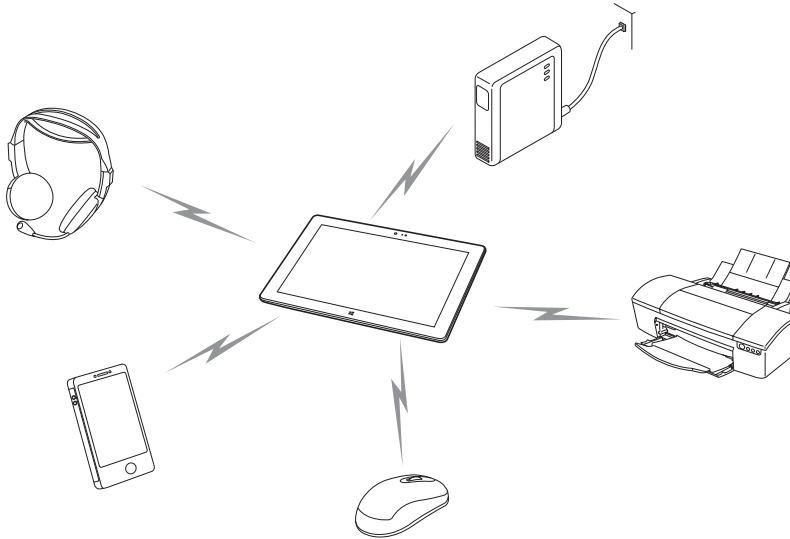


「ネットワーク切替えツール」画面を表示した状態では、プロファイル一括変更ツールを使用できません。

# Bluetooth 機能

本機には Bluetooth 機能が搭載されています。

Bluetooth とは、無線の通信方式の 1 つです。Bluetooth 機能を使用して、本機に Bluetooth に対応した周辺機器を接続することができます。



## 仕様

本機に搭載されている Bluetooth 機能の仕様は、次のとおりです。

規格	周波数帯
Bluetooth 標準規格 Ver 4.0 + EDR、LE 対応	2.4GHz

## Bluetooth機能をお使いの前に



- 航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。  
電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。  
また、自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。
- 医療機関の屋内で本機を使用するときは、次のことを守ってください。
  - ・ 手術室・集中治療室 (ICU)・冠状動脈疾患監視室 (CCU) には、本機を持ち込まない。
  - ・ 病棟内では、本機の電源を切るか電波を停止する。
  - ・ 病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、本機の電源を切るか電波を停止する。
  - ・ 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
  - ・ 自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切る。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、Bluetooth機能を使用するときは、装着部と本機の間を22cm以上離してください。  
電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。  
満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、本機の電源を切るか電波を停止してください。
- Bluetooth機能は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。  
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

## 電波に関する注意

Bluetooth機能は、次の電波に関する注意事項を確認して正しくお使いください。

- ・ 本機の Bluetooth 機能は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。そのため、本機の Bluetooth 機能を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- ・ 本機の Bluetooth 機能は、技術基準適合証明を受けていますので、本機を分解・改造すると法律で罰せられることがあります。
- ・ 2.4GHz 付近の電波を通信している無線装置などの近くで通信すると、双方の処理速度が落ちる場合があります。電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところでは、使用しないでください（環境により電波が届かない場合があります）。
- ・ 本機の Bluetooth 機能の使用する電波が、次の機器や無線局と電波干渉するおそれがあります。
  - ・ 産業・科学・医療用機器
  - ・ 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
    - 1 構内無線局（免許を要する無線局）
    - 2 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）



万一、本機の Bluetooth 機能と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または運用を停止（電波の発信を停止）してください。

- Bluetooth と無線 LAN は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、Bluetooth 機能、無線 LAN のいずれかの使用を中止してください。
- 本製品は電波を利用したワイヤレス機器です。本製品を使用する環境によっては通信速度の低下や、接続が一時的に切断されるなどの現象が発生する場合がありますが、故障ではありません。

## 通信可能な距離



制限

通信可能距離は通信機器間の障害物や電波状況、磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するアプリ、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などによって、変化する可能性があります。通信できない場合は、通信する機器を本機の近くに設置してください。

## 通信時の確認事項

Bluetooth 機能を使用して通信する際は、次の事項を確認してください。

- 使用する機器が Bluetooth に対応していることを確認してください
- 本機と使用する機器が通信可能な距離にあることを確認してください。
- 本機と使用する機器が接続可能な状態になっていることを確認してください。
- 本機と使用する機器の Bluetooth 機能が有効になっていることを確認してください。
- 本機と複数の Bluetooth 機器で通信する場合、通信速度が低下する場合があります。

## Bluetooth機能のオン/オフ方法

Bluetooth 機能のオン / オフ方法について説明します。

Bluetooth 機能のオン / オフは、PC 設定の画面で行います。

- 1 チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「Bluetooth」をタップし、右側に表示された「Bluetooth」のバーをタップします。バーをタップするたびに Bluetooth 機能のオン / オフが切り替わります。



機内モード (p.60) をオン / オフした場合は、同時に無線 LAN 機能 (p.60) と GPS 機能 (p.88) もオン / オフされます。

# Bluetooth対応の周辺機器を使用する

マウスやヘッドセットなど、Bluetooth 対応の周辺機器を使用する方法を説明します。

## 周辺機器の検出・追加

新規で周辺機器を使用する場合、周辺機器を検出して、追加をする必要があります。



参考

### パスコード

周辺機器によっては、設定中に、パスコードの入力を促す画面が表示される場合があります。この場合は、周辺機器に添付のマニュアルを参照の上、パスコードを入力してください。

周辺機器を新規で検出・追加する方法は次のとおりです。

- 1** 周辺機器を本機の近くに設置します。
- 2** 本機と周辺機器の Bluetooth 機能を「オン」にします。



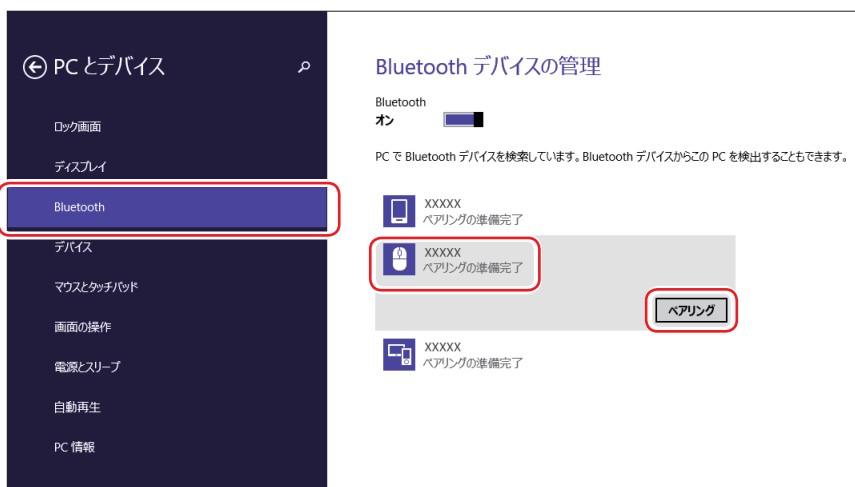
p.73 「Bluetooth 機能のオン / オフ方法」

周辺機器の Bluetooth 機能をオンにする方法は、周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。

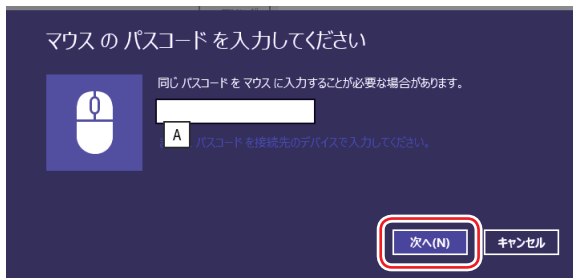
- 3** 周辺機器を検出し、デバイスに追加します。

ここでは Bluetooth マウスを例に説明します。

- 1** チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「Bluetooth」 をタップします。
- 2** 表示されたデバイス（マウス）を選択し、[ペアリング] をタップします。



- ③ パスコードの入力画面が表示された場合は入力して「次へ」をタップします。  
マウス側の設定はマウスのマニュアルをご覧ください。



デバイスに Bluetooth マウスが追加されます。

これで周辺機器の検出・追加は完了です。

## 周辺機器を使用する

追加が完了すると、周辺機器を使用できるようになります。  
一度追加を行うと、次回以降は自動的に周辺機器に接続します。

## 接続を解除する場合

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「Bluetooth」の一覧に表示されているデバイスを選択し、「デバイスの削除」をタップします。



# インターネットを使用する際のセキュリティー対策

本機には、インターネットに接続した際に起こりうる、コンピューターウイルス感染や不正アクセスなどの危険に対する、セキュリティー機能が備えられています。

ここでは、このセキュリティー機能について説明します。インターネットに接続する場合は、コンピューターの安全を守るため、必ずセキュリティー対策を行ってください。

## Windows Update

「Windows Update」は、本機の Windows の状態を確認し、Windows の更新プログラムをインターネットからダウンロードしてインストールする機能です。

Windows を最新の状態にするため、Windows Update を行ってください。

### 自動更新の設定

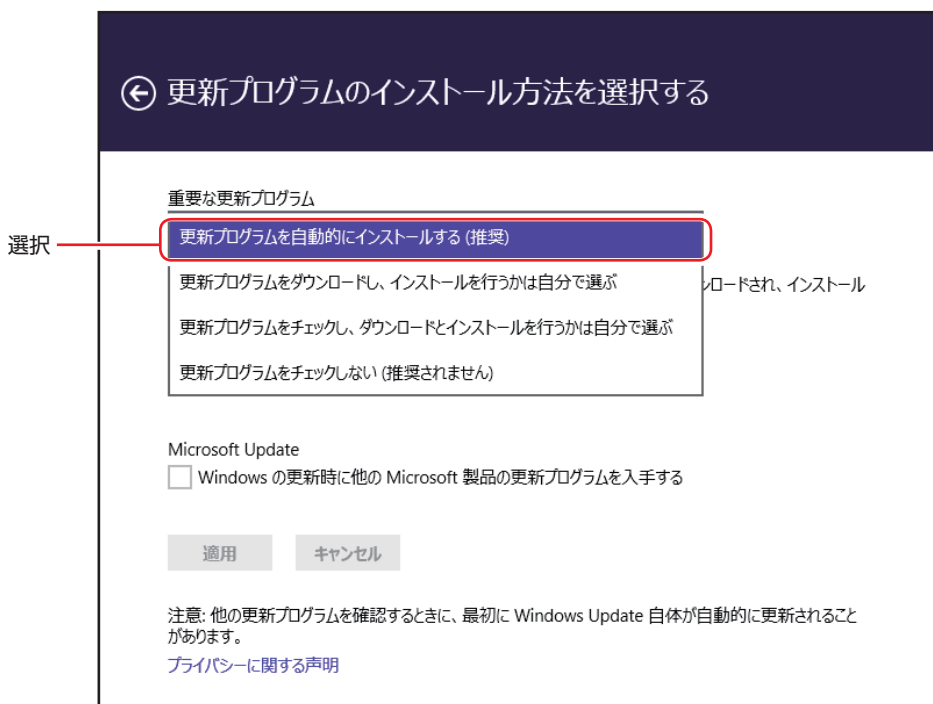
本機を使用する際は、自動で Windows Update が行われるように、自動更新の設定をすることをおすすめします。

自動更新の設定がされていると、更新プログラムのダウンロードとインストールが自動で行われます。

初期状態では、自動更新の設定がされています。そのまま使用してください。

自動更新の設定は、次の場所で行います。

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「保守と管理」 - 「Windows Update」 - 「更新プログラムのインストール方法を選択する」



「コントロール パネル」で設定することもできます。

【デスクトップ】 - 「設定チャーム」 - 「コントロール パネル」 - 「システムとセキュリティー」 - 「Windows Update」 - 「設定の変更」

## セキュリティアプリ

インターネットに接続する場合は、コンピューターウイルス感染や不正アクセスを防ぐため、セキュリティアプリを必ず使用してください。

### ウイルスバスター クラウド 90 日版を使う

本機には、セキュリティアプリとして、「ウイルスバスター クラウド 90 日版」が添付されています。

#### ウイルスバスター クラウド 90 日版のインストール

購入時、ウイルスバスター クラウド 90 日版はインストールされていません。使用する場合は、次の場所からインストールしてください。

アプリ一覧 (p.29) の「おすすめアプリケーションのインストール」

市販のセキュリティアプリを使用する場合は、アプリ同士の競合を防ぐため、ウイルスバスタークラウド 90 日版をインストールしないでください。

#### ウイルスバスター クラウド 90 日版の使用方法

ウイルスバスター クラウド 90 日版は、デスクトップの「ウイルスバスター クラウド」アイコンから起動します。



<ウイルスバスター クラウドアイコン>

使用方法は、「ヘルプ」をご覧ください。



## ウイルスバスター クラウド 90 日版を一時的に無効にするには

お使いのアプリなどで、ウイルスバスター クラウド 90 日版を「無効」にするよう指示があった場合は、一時的にウイルスバスター クラウド 90 日版の機能を「無効」にします。

機能を「無効」にすると、セキュリティーが確保されなくなります。安全を十分に確認した上で設定し、作業が終わったら、必ず「有効」に戻してください。

## ウイルスバスター クラウド 90 日版のアンインストール

市販のセキュリティーアプリを使用する場合や、お使いのソフトウェアなどで指示があった場合には、ウイルスバスター クラウド 90 日版をアンインストールします。

アンインストール方法は、次のとおりです。

- 1** アプリ一覧 (p.29) の【ウイルスバスターの削除】をタップします。
- 2** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、【はい】をタップします。  
以降は画面の指示に従ってアンインストールを行ってください。

## 90 日の期限が来たら

本機に添付のウイルスバスター クラウドには、一定の有効期間（製品使用開始から 90 日間）が設定されています。

有効期限が切れた場合は、定義ファイルの更新やアプリの自動バージョンアップが行われなくなるため、最新のウイルスやスパイウェアなどの脅威に対応することができなくなり、大変危険です。

90 日の期限が切れた場合は、使用を継続するための更新手続きを行うことをおすすめします。更新は有償になります。更新手続きを行うことにより、最新の脅威に対応できるようになります。

## ウイルスバスター クラウド 90 日版のサポート

正しく動作しない場合など、ウイルスバスター クラウド 90 日版に関するご相談については、下記へお問い合わせください。

※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

### ● 電話でのお問い合わせ 受付時間 365 日（年中無休）9:30 ～ 17:30

#### 1. 操作、障害などのお問い合わせ

（インストール / バージョンアップ操作、設定方法、ウイルス、各種トラブル）

0570-019-610

#### 2. ユーザー登録、契約更新のお問い合わせ

（契約更新、入金情報、ユーザー登録情報の確認や変更）

0570-064566

※ 一部の IP(光) 電話や PHS、海外からの発信など、ナビダイヤルをご利用になれない場合はこちらの番号におかけください。03-6738-6063

※ 通話料金はお客さまのご負担となります。

※ 番号のおかけ間違いにご注意ください。

- メールでのお問い合わせ 受付時間 365日(年中無休) 24時間

以下の各種お問い合わせフォームよりお問い合わせください。

- 操作・設定・トラブル バージョンアップ、操作、設定方法、各種トラブル、エラーに関するお問い合わせ

<https://esupport.trendmicro.com/submitcaseonline/consumer/srf-ts-step1.aspx>

- ウイルス検出・駆除 ウイルス検出や駆除方法、その他ウイルス情報に関するお問い合わせ

<https://esupport.trendmicro.com/submitcaseonline/consumer/srf-ve-step1.aspx>

- 契約更新・登録情報 契約更新、入金情報、ユーザー登録情報の確認や変更に関するお問い合わせ

<https://esupport.trendmicro.com/submitcaseonline/consumer/srf-cs-step1.aspx>

- チャットでのお問い合わせ 受付時間 365日(年中無休) 9:00～21:00

以下のチャットお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

- チャットお問い合わせフォーム


<https://esupport.trendmicro.com/jpprechatform/consumer/chatlogin.aspx>

- トレンドマイクロサポートWEB

<http://tmqa.jp/vbtop/>

## 市販のセキュリティアプリを使う

市販のセキュリティアプリを使用する場合は、アプリ同士の競合を防ぐため、ウイルスバスタークラウド90日版をアンインストール(削除)してください。

 p.78 「ウイルスバスタークラウド90日版のアンインストール」

## Webフィルタリングアプリ

Web フィルタリングとは、インターネット上の有害なサイトを表示しないようにするための技術です。Web フィルタリングを行うと、有害サイトへのアクセスを自動的に制限することができます。

### i-フィルター 30 日版を使う

本機には、Web フィルタリング機能を持つ「i-フィルター 30 日版」が添付されています。家庭内でお子様がコンピューターを使用する際に、有害なサイトへアクセスするのを制限したいときなどは、i-フィルター 30 日版を使用することをおすすめします。

#### i-フィルター 30 日版のインストール

購入時、i-フィルター 30 日版はインストールされていません。  
使用する場合は、次の場所からインストールしてください。

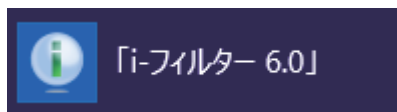
**アプリ一覧 (p.29) の「おすすめアプリケーションのインストール」**

市販の Web フィルタリングアプリを使用する場合は、アプリ同士の競合を防ぐため、i-フィルター 30 日版はインストールしないでください。

#### i-フィルター 30 日版の申し込み

i-フィルター 30 日版を使用するには、申し込みが必要です。  
申し込みはインターネットに接続した状態で行います。

アプリ一覧 (p.29) の [i-フィルター 6.0] をタップし、表示された画面の指示に従って、申し込みを行ってください。



ファイアウォール機能による警告画面が表示された場合は

セキュリティアプリのファイアウォール機能を有効にしている場合、インターネット閲覧時に「i-フィルター 30 日版」でのインターネットアクセスに関する警告が表示されることがあります。

この場合は、「i-フィルター 30 日版」の使用を許可してください。

#### i-フィルター 30 日版のサポート

i-フィルター 30 日版のサポートは、デジタルアーツ社で行います。  
よくあるご質問と回答・サポート窓口・継続利用手続き・サービスページなどについては、デジタルアーツ社の次のホームページをご覧ください。  
なお、このサポート情報は、予告なく変更される場合があります。


<http://www.daj.jp/cs/support.htm>



# Microsoft Office (オプション) を使う前に

オプションの「Microsoft Office」を購入した場合、本機には Microsoft Office が収録されています。ここでは、Microsoft Office の添付品やインストール方法などについて説明します。ご使用前に必ずお読みください。

## 添付品の確認

Microsoft Office の添付品は次のとおりです。添付品がすべてそろっていることを確認してください。万一、添付品の不足や不良がございましたら、『別冊』『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。担当窓口までご連絡ください。

- 「Microsoft Office」製品パッケージ
  - ・お使いになる前に
  - ・プロダクトキーカード

## 初めて使用するとき

Microsoft Office は初回使用時、自動的にインストールが行われます。詳しくは、「Microsoft Office」製品パッケージの「お使いになる前に」をご覧ください。

### < ご注意 >

出荷時のスタート画面には、「Microsoft Office」アイコンのみが表示されています。設定が完了するまでは、「Word」や「Excel」などのアイコンは表示されません。

## 64ビット版のインストール

互換性関連の問題を防ぐため、出荷時は、32 ビット版 Microsoft Office のインストールが実行されるように設定されています。

64 ビット版 Office をお使いになる場合には、32 ビット版 Office をアンインストールしてから、64 ビット版 Office をインストールしてください。

詳しくは、以下の Web サイトをご覧ください。

<http://www.office.com/jppipcsetup/>

※ 32 ビット版 Office と 64 ビット版 Office の同時インストールはできません。

※ 64 ビット版 Office では、32 ビット版 Office 用のアドインソフトウェアは使用できません。

## 再インストール

Microsoft Office には再インストール用メディアは同梱されていません。再インストールについては、「Microsoft Office」製品パッケージの「お使いになる前に」 - 「2-2 再インストール」をご覧ください。ダウンロード時の最新の状態でインストールされます。

Microsoft Office は、購入時にインストールされていたコンピューターでのみ使用できます。

# 省電力機能



ここでは、本機の省電力機能について説明します。

## 省電力状態

本機を使用していない間、省電力状態にしておくと、電力の消費を抑えることができます。

### 省電力状態へ移行する際の注意

省電力状態に移行する際には、次のような注意事項があります。移行する前に確認して正しくお使いください。

- 省電力状態に移行する場合は、万一正常に復帰しない場合に備え、使用中のデータ（作成中の文書やデータなど）は保存しておいてください。
- 次のような場合は、省電力状態に移行しないことがあります。
  - ・ 周辺機器を接続している
  - ・ アプリを起動している
- 次のような場合に省電力状態に移行すると、不具合が発生する可能性があります。省電力状態に移行しないように設定してください。
  -  p.84 「時間経過で移行させない」
    - ・ サウンド機能で録音、再生時：録音や再生が途中で切断される可能性
    - ・ メモリーカードや外部接続記憶装置（USB HDD など）へのデータ書き込み時：データ破損の可能性
    - ・ ネットワーク機能を使っでの通信時：通信が切断される可能性
    - ・ 動画再生時：コマ落ちしたりアプリの動作が遅くなるなどの現象が発生する可能性
- 次のような場合は、省電力状態から正常に復帰できないことがあります。
  - ・ 省電力状態で、周辺機器などの抜き差しを行った場合
  - ・ ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行した場合
- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。  
このような場合は、次のいずれかの方法をとってください。
  - ・ 再起動する
  - ・ 省電力状態に移行しないように設定する
    -  p.84 「時間経過で移行させない」

### 省電力状態の種類

省電力状態には、主に次のようなものがあります。

- ディスプレイの電源を切る  
省電力の効果はスリープより低いですが、通常の状態にすぐに復帰できます。

### ●スリープ

作業内容をメモリーに保存し、コンピューターを低電力の状態にします。通常の状態へは数秒で復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

スリープの状態を設定した時間経過した場合、またはバッテリー残量が設定したパーセンテージまで低下した場合は、自動的にメモリーの内容が eMMC に書き込まれ、本機は「休止状態」になります。

### ●休止状態

作業内容を eMMC に保存し、コンピューターを低電力の状態にします。シャットダウン状態からよりも早く通常の状態へ復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

## 省電力状態に移行する方法

本機を省電力状態にするには、時間経過で移行する方法と直ちに移行する方法があります。

### 時間経過で移行する

コンピューターを操作しない状態で時間が経過すると、本機は自動的に省電力状態に移行します。初期値ではまずディスプレイの電源が切れ、そのまま操作しないと続いてコンピューターがスリープになります。

省電力状態に移行する（ディスプレイの電源を切る、コンピューターをスリープ状態にする）までの時間は、次の場所を変更することができます。

#### 簡易設定

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「電源とスリープ」

#### 詳細設定

【デスクトップ】 - 「設定チャーム」 - 「コントロール パネル」 - 「システムとセキュリティ」 - 「電源オプション」 - 各プランの「プラン設定の変更」




<イメージ>

## 時間経過で移行させない

外付け USB HDD に大量のデータを書き込む場合などは、時間経過で省電力状態に移行する設定を無効にします。時間をすべて「なし」に設定してください。

## 直ちに移行する

次の操作をすると、本機はすぐに省電力状態に移行します。

操作	省電力状態の種類
電源スイッチ (⏻) を押す	スリープ (初期値)
スタート画面右上の  から項目を選択する	スリープ、休止状態*
チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「電源」から項目を選択する	

\* 購入時は、「休止状態」が表示されません。表示させるには、次の設定を行います。

[デスクトップ] - 「設定チャーム」 - 「コントロール パネル」 - 「システムとセキュリティ」  
- 「電源オプション」 - 「電源ボタンの動作を選択する」 - 「現在利用可能ではない設定を変更します」 - 「シャットダウン設定」の「休止状態」にチェック [変更の保存] をタップ

## 省電力状態からの復帰方法

本機を省電力状態から通常の状態に復帰させる方法は、次のとおりです。

省電力状態	復帰方法
ディスプレイの電源切	画面にタッチする
スリープ	電源スイッチを押す
休止状態	電源スイッチを押す

## Endeavor電源プラン設定ツール

本機には節電設定を行うための「Endeavor 電源プラン設定ツール」が添付されています。Endeavor 電源プラン設定ツールでは、3つのおすすめ電源プランや、お客様ご自身で新規に作成するプランの中から、使い方に合った節電プランを設定することができます。詳しくは、次の場所をご覧ください。



【PC お役立ちナビ】 - 画面下【ユーザーサポート】 - FAQ 番号：21091

## インストール

Endeavor 電源プラン設定ツールを使用するには、インストールが必要です。使用する場合は、次の場所からインストールしてください。

アプリ一覧 (p.29) の「おすすめアプリケーションのインストール」

## プランの変更方法

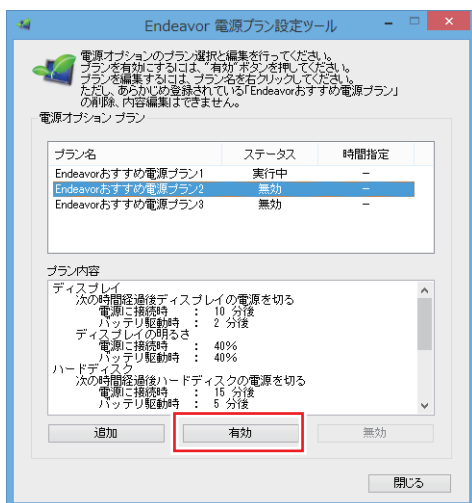
Endeavor 電源プラン設定ツールをインストールすると、「Endeavor おすすめ電源プラン1」が有効になります。必要に応じて、「Endeavor 電源プラン設定ツール」画面で設定を変更してください。

変更方法は、次のとおりです。

- 1 アプリ一覧 (p.29) の「Endeavor 電源プラン設定ツール」をタップします。



- 2 変更したいプランを選んで「有効」をタップします。



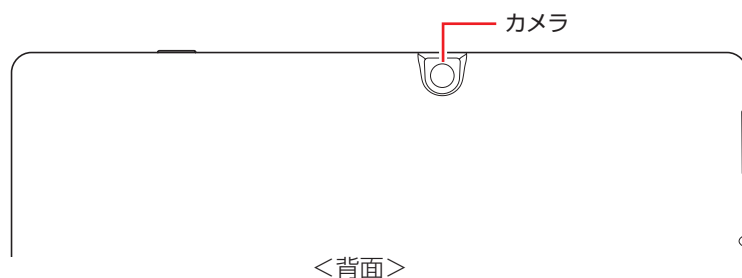
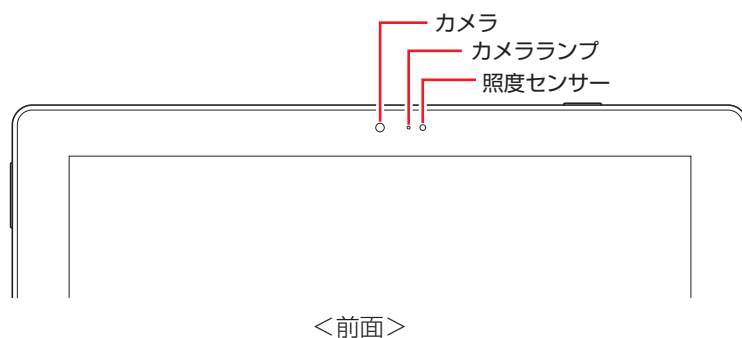
おすすめプランの内容や新規プラン作成方法は、次の場所をご覧ください。



【PC お役立ちナビ】 - 画面下【ユーザーサポート】 - FAQ 番号：21091

# カメラを使う

本機前面と背面には、カメラが搭載されており、写真や動画を撮影することができます。カメラアプリを起動して、カメラがオンになると、カメラランプが点灯します。



## ！ 制限

- カメラのレンズ周辺には触れないでください。汚れや傷がつくと、撮影する画像が劣化します。
- カメラを太陽に向けないでください。カメラの故障の原因となります。電源切状態でも向けないでください。

## カメラアプリを使う

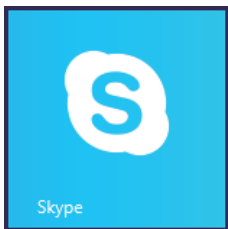
本機には、カメラ機能を使用するアプリとして、次の2つが添付されています。

### ● カメラ



カメラで撮影を行うためのアプリです。起動して画面上をタップすると、撮影ができます。  
※ Windows を起動する前にロック画面 (p.24) を下にスワイプして起動することもできます。  
撮影した写真や動画は、「ピクチャ」の「カメラロール」に保存されます。

- Skype



Skype はインターネット経由で通話やチャットができるアプリです。  
Skype の使用方法の詳細は、Skype のヘルプをご覧ください。

# GPS 機能

本機には GPS 機能が搭載されています。GPS とは、衛星からの信号を受信し、現在地を測位する機能です。

## GPSに関する注意

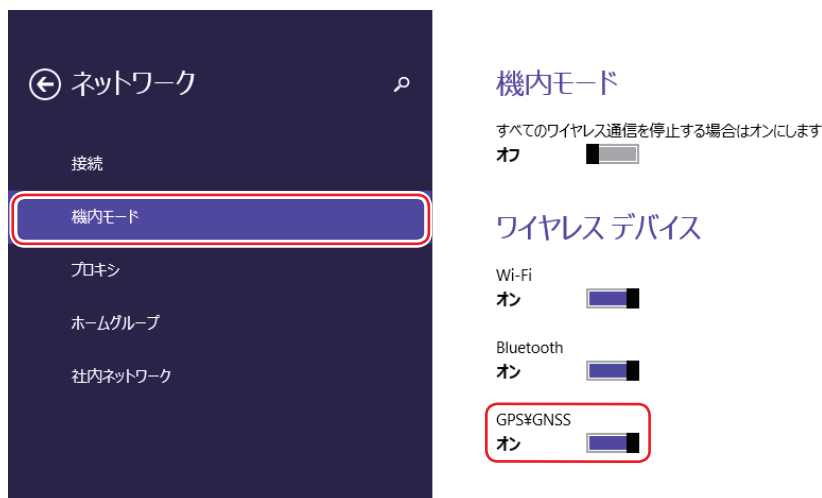
GPS 機能使用時、測位場所などの状態により、正常に現在地を測位できない場合があります。たとえば、次のような場所や状態では、現在地を検出できない可能性があります。現在地を検出できない場合は、位置を変えてみてください。

- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 本機の周囲に障害物（人や物）がある場合
- 自動車や電車などの車内
- 地下やトンネル、地中、水中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨や雪などの悪天候

## GPS機能のオン/オフ方法

GPS 機能のオン / オフ方法について説明します。  
GPS 機能のオン / オフは、PC 設定の画面で行います。

- 1** チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「ネットワーク」 - 「機内モード」をタップし、右側に表示された「GPS」のバーをタップします。  
バーをタップするたびに GPS 機能のオン / オフが切り替わります。

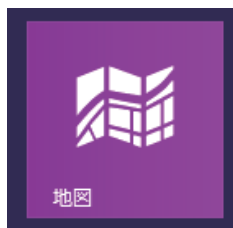


機内モード (p.60) をオン / オフした場合は、同時に無線 LAN 機能 (p.60) と Bluetooth 機能 (p.73) もオン / オフされます。



## GPS対応アプリを使う

GPS 機能を使用するアプリとして、地図アプリなどがあります。



地図アプリを起動し、アプリコマンド (p.32) を表示して「自分の場所」をタップすると、現在地がアイコンで表示されます。



# 2

## UEFI の設定

コンピュータの基本状態を管理しているプログラム「UEFI」の設定を変更する方法について記載しています。

UEFI の設定を始める前に.....	92
UEFI Setup ユーティリティーの操作.....	93
UEFI Setup ユーティリティーの設定項目.....	102

# UEFI の設定を始める前に



**制限**

当社製以外の UEFI を使用すると、Windows が正常に動作しなくなる場合があります。当社製以外の UEFI へのアップデートは絶対に行わないでください。

UEFI は、コンピューターの基本状態を管理しているプログラムです。このプログラムは、マザーボード上に ROM として搭載されています。

UEFI の設定は「UEFI Setup ユーティリティ」で変更できますが、購入時のシステム構成に合わせて最適に設定されているため、通常は変更する必要はありません。UEFI の設定を変更するのは、次のような場合です。

- 本書やお使いの装置のマニュアルで指示があった場合
- パスワードを設定する場合
- マザーボード上の機能を有効 / 無効にする場合

UEFI の設定値を間違えると、システムが正常に動作しなくなる場合があります。設定値をよく確認してから変更を行ってください。

UEFI Setup ユーティリティで変更した内容は CMOS RAM と呼ばれる特別なメモリー領域に保存されます。このメモリーは電池によってバックアップされているため、本機の電源を切ったり、再起動しても消去されることはありません。

## 動作が不安定になったら

設定値を変更して本機の動作が不安定になった場合は、設定値を戻すことができます。

 p.97 「Load Optimal Defaults (UEFI の初期値に戻す)」

# UEFI Setup ユーティリティの操作

ここでは、「UEFI Setup ユーティリティ」の次の操作方法について説明します。

- 基本操作（起動、操作、終了）
- 設定値を元に戻す
- パスワードを設定する
- 起動（Boot）デバイスの順番を変更する

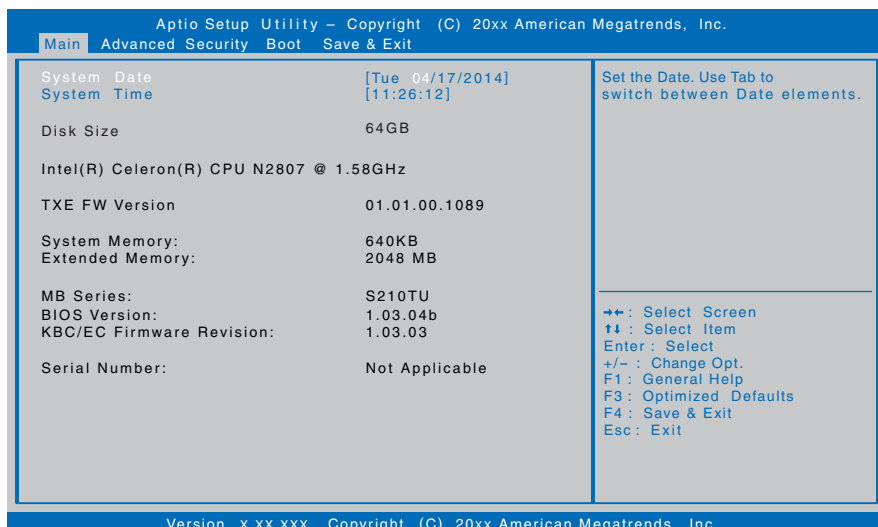
## 必要な機器

UEFI Setup ユーティリティを操作するには、外付けの USB キーボードが必要です。USB キーボードを用意して接続してください。

## UEFI Setup ユーティリティの起動

本機の電源を入れる前に、キーボードの **F2** の位置を確認してください。**2** では、すばやく **F2** を押す必要があります。

- 1** 本機の電源を入れます。  
すでに Windows が起動している場合は、再起動します。
- 2** 本機の起動直後すぐに **F2** を押し続けます。  
Windows が起動してしまった場合は、再起動して **2** をもう一度実行してください。
- 3** 「UEFI Setup ユーティリティ」が起動して「Main」メニュー画面が表示されます。



< UEFI Setup ユーティリティ画面 (イメージ) >

## UEFI Setupユーティリティの操作

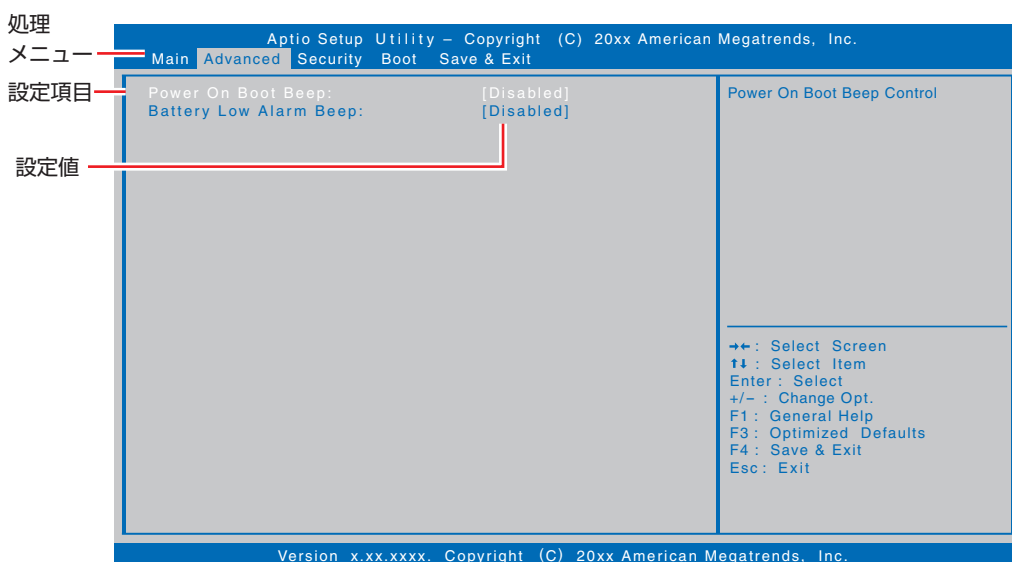
「UEFI Setup ユーティリティ」の操作は、キーボードで行います。

ここで説明している画面はイメージです。実際の設定項目とは異なります。

各メニュー画面と設定項目の説明は、[🔗](#) p.102「UEFI Setup ユーティリティの設定項目」をご覧ください。

### 画面の構成

UEFI Setup ユーティリティには、処理メニューに表示された「メニュー画面」と、設定項目によって表示される「サブメニュー画面」、設定値を変更する際に表示される「選択ウィンドウ」があります。






<メニュー画面>

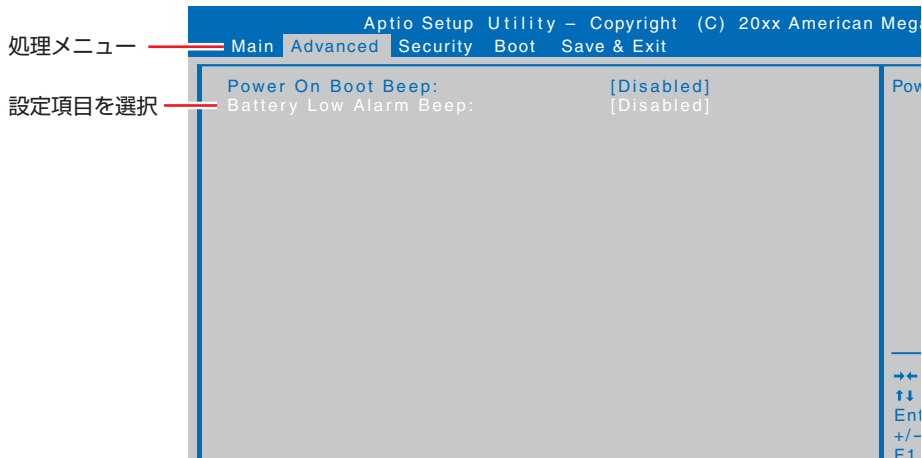
## 操作方法

UEFI Setup ユーティリティの操作方法是次のとおりです。

- 1 変更したい設定項目のあるメニューを、処理メニューから選択し、設定項目を選択します。

  でメニュー間を移動します。

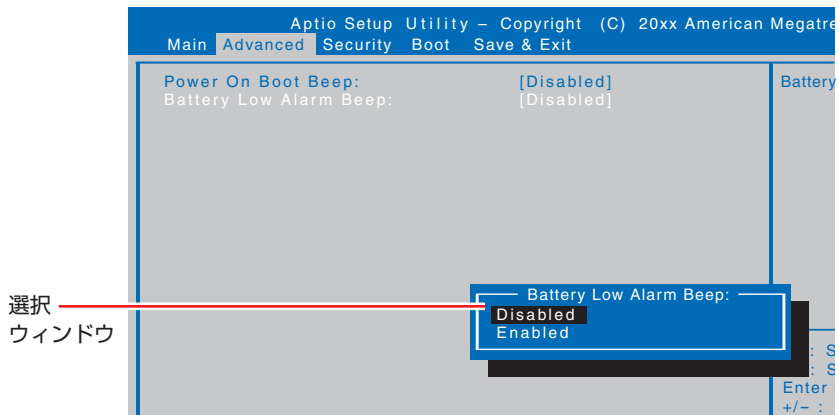
  で設定値を変更したい項目まで移動します。



<メニュー画面>












- 2 設定値を変更します。

 を押して選択ウィンドウを表示し、  で値を選択し  で決定します。



## キー操作

UEFI の画面を操作するときは、次のキーを使用します。


キー	操作できる内容
	<ul style="list-style-type: none"><li>変更した内容を破棄し、終了します。</li><li>サブメニュー画面からメニュー画面に戻ります。</li></ul>
 , 	設定を変更する項目を選択します。
 , 	処理メニューを選択します。
 , 	項目の値を変更します。
	<ul style="list-style-type: none"><li>サブメニュー画面を表示します。</li><li>選択項目の選択ウィンドウを表示します。</li><li>設定値を選択します。</li></ul>
	ヘルプを表示します。
	全設定項目の値を、UEFI の初期値に戻します。
	変更した設定値を保存して終了します。

## UEFI Setupユーティリティの終了


「UEFI Setup ユーティリティ」を終了するには、次の 2 つの方法があります。

### Save Changes and Reset (変更した内容を保存し終了する)

変更した設定値を保存して、UEFI Setup ユーティリティを終了します。

- 1**  を押す、または「Save & Exit」メニュー画面 - 「Save Changes and Reset」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Save & reset	
Save configuration and reset?	
Yes	No

- 2** 「Yes」を選択し、 を押します。  
「UEFI Setup ユーティリティ」が終了し、Windows が起動します。



## Discard Changes and Reset (変更した内容を破棄し終了する)

変更した設定値を保存せずに、UEFI Setup ユーティリティを終了します。

- 1 **Esc** を押す、または「Save & Exit」メニュー画面－「Discard Changes and Reset」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

**Esc** を押した場合

Exit Without Saving Quit without saving?	
Yes	No

メニュー画面から選択した場合

Reset Without Saving Reset without saving?	
Yes	No

- 2 **Yes** を選択し、**Enter** を押します。  
「UEFI Setup ユーティリティ」が終了し、Windows が起動します。

## 設定値を元に戻す

「UEFI Setup ユーティリティ」の設定を間違えてしまい、万一、本機の動作が不安定になってしまった場合などには、設定値を UEFI の初期値や前回保存した値に戻すことができます。

## Load Optimal Defaults (UEFI の初期値に戻す)

設定値を UEFI の初期値に戻す方法は、次のとおりです。

※「Security」メニュー画面のパスワードに関する項目を UEFI の初期値に戻すことはできません。

- 1 **F3** を押す、または「Save & Exit」メニュー画面－「Load Optimal Defaults」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Load optimized Defaults Load Optimized Defaults?	
Yes	No



- 2 [Yes] を選択し、 を押します。  
これで設定値が「UEFIの初期値」に戻ります。

## Discard Changes (前回保存した設定値に戻す)

設定値を前回保存した値に戻す方法は、次のとおりです。

- 1 「Save & Exit」メニュー画面 - 「Discard Changes」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Load Previous Values	
Load Previous Values?	
Yes	No

- 2 [Yes] を選択し、 を押します。  
これで設定値が「前回保存した値」に戻ります。

## ユーザー設定値を保存する


「UEFI Setup ユーティリティ」の設定値を変更した場合、その状態を「ユーザー設定値」として保存しておくことができます。ユーザー設定値を保存しておくこと、「Load Optimal Defaults」を行って、設定値が「UEFIの初期値」になってしまった場合などに、「ユーザー設定値」に戻すことができます。

## Save User Define (ユーザー設定値を保存する)

設定値を「ユーザー設定値」として保存する方法は、次のとおりです。

- 1 UEFI Setup ユーティリティの設定値を変更します。
- 2 「Save & Exit」メニュー画面 - 「Save User Define」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Save User Define	
Save configuration?	
Yes	No

- 3 [Yes] を選択し、 を押します。  
これで設定値が保存されます。

## Load Setup User Define (ユーザーの初期設定値に戻す)

設定値を「ユーザー設定値」に戻す方法は、次のとおりです。

※ 「Save User Define」で設定値を保存後、実行可能になります。

- 1 「Save & Exit」メニュー画面 - 「Load Setup User Define」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Load Setup User Define	
Restore User Defaults?	
Yes	No

- 2 「Yes」を選択し、 を押します。  
これで設定値が「ユーザー設定値」に戻ります。

## パスワードを設定する

「Security」メニュー画面でパスワードを設定すると、UEFI や Windows の起動時にパスワードを要求されるようになります。本機を使用するユーザーを制限したい場合などに設定します。

### パスワードの種類

パスワードには次の 2 種類があります。

- Supervisor Password (管理者パスワード)  
コンピューターの管理者用のパスワードです。管理者パスワードで UEFI にログオンした場合は、すべての項目の閲覧と変更が可能です。
- User Password (ユーザーパスワード)  
一般ユーザー用のパスワードです。ユーザーパスワードで UEFI にログオンした場合は、項目の閲覧や変更が制限されます。

## パスワードの設定方法

パスワードの設定方法を説明します。




設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、UEFI の設定変更や、設定によっては Windows の起動ができなくなります。

### 管理者パスワードの設定

管理者パスワードの設定方法は、次のとおりです。

管理者パスワードを設定すると、ユーザーパスワードが設定できるようになります。


- 1** 「Security」メニュー画面－「Set Supervisor Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

— Create New Password —

- 2** パスワードを入力します。  
「\*」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。パスワードとして使用できるのは英数字だけです。アルファベットの大文字と小文字は区別されません。パスワードは 20 文字まで入力可能です。  
パスワード入力時は、キーボードの入力モードに注意してください。たとえば、数値キー入力モードでパスワードを設定し、起動時に数値キー入力モードではない状態でパスワードを入力するとエラーになります。


- 3**  を押すと、次のメッセージが表示されます。もう一度同じパスワードを入力し、 を押します。

— Confirm New Password —

同じパスワードを入力しないと、「ERROR」というメッセージが表示されます。[Ok] が選択された状態で  を押し、**1** からやりなおしてください。

パスワードの設定が完了すると、ユーザーパスワードなどの新しい設定項目が表示されます。

### ユーザーパスワードの設定

ユーザーパスワードは、 p.100「管理者パスワードの設定」－ **1** で「Set User Password」を選択し、管理者パスワードと同じ手順で設定します。

## パスワードの削除方法

パスワードの削除方法は、次のとおりです。

管理者パスワードを削除する場合は、管理者パスワードで UEFI にログオンしてください。

※ユーザーパスワードを設定している場合、管理者パスワードを削除すると、自動的にユーザーパスワードも削除（解除）されます。

- 1 「Security」メニュー画面で「Set Supervisor Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

ユーザーパスワードを削除する場合は、「Set User Password」を選択します。

Enter Current Password
------------------------

- 2 設定しているパスワードを入力して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Create New Password
---------------------

- 3 何も入力せずに  を押すと、次のメッセージが表示されます。

WARNING	
Clear Old Password. Continue?	
Yes	No

- 4 [Yes] が選択された状態で  を押します。

# UEFI Setup ユーティリティの設定項目

ここでは、UEFI Setup ユーティリティで設定できる項目と、設定方法などについて説明します。UEFI Setup ユーティリティのメニュー画面には、次の5つのメニューがあります。

- Main メニュー画面

日付、時間の設定を行います。

- Advanced メニュー画面

ビープ音の設定を行います。

- Security メニュー画面

パスワードに関する設定や、セキュアブートの設定を行います。

- Boot メニュー画面

システムの起動 (Boot) に関する設定を行います。

- Save & Exit メニュー画面

UEFI Setup ユーティリティを終了したり、UEFI の設定値を初期値に戻します。

## Mainメニュー画面

「Main」メニュー画面では、日付、時間などの設定を行います。設定項目は、次のとおりです。

\*は項目表示のみ

*BIOS Version	BIOS のバージョン
*GOP Revision	GOP (グラフィックス出力プロトコル) ドライバーのバージョン
*EC Version	EC ファームウェアのバージョン
*TXE FW Version	TXE ファームウェアのバージョン
*BIOS Core Version	コアのバージョン
*UEFI Version	UEFI のバージョン
*WLAN Device	無線 LAN アダプターの型番
*Disk Size	eMMC の容量
*System Memory	システムメモリー容量
*Extended Memory	拡張メモリー容量
System Time	時刻を設定します。(時：分：秒) の順で表示されています。
System Date	日付を設定します。(曜日 月 / 日 / 年) の順で表示されています。
*Serial Number	シリアルナンバー


## Advancedメニュー画面

「Advanced」メニュー画面では、ビーブ音の設定を行います。設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値  
\*は項目表示のみ

CPU Configuration	本機に搭載されている CPU の設定をします。
Intel Virtualization Technology	Intel Virtualization Technology の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
Turbo Boost Technology	ターボブースト機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
Power On Boot Beep	起動時にビーブ音を鳴らすかどうかを設定します。 Disabled: ビーブ音を鳴らしません。 Enabled: ビーブ音を鳴らします。
Battery Low Alarm Beep	バッテリー低下時にビーブ音を鳴らすかどうかを設定します。 Disabled: ビーブ音を鳴らしません。 Enabled: ビーブ音を鳴らします。

## Securityメニュー画面

「Security」メニュー画面では、パスワードに関する設定や、セキュアブートの設定を行います。パスワードの設定方法は、 p.99 「パスワードを設定する」をご覧ください。  
設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値  
\*は項目表示のみ

IO Interface Security	データの盗難を防ぐために、サブメニュー画面でインタフェースの有効、無効を設定します。
Wireless Network Interface	無線 LAN 機能を使用するかどうかを設定します。 UNLOCKED: 使用します。 LOCKED: 使用しません。
AUDIO Interface	サウンド機能を使用するかどうかを設定します。 UNLOCKED: 使用します。 LOCKED: 使用しません。
Set Supervisor Password	管理者パスワードの設定や変更、削除を行います。
Set User Password ※管理者パスワードを設定すると表示されます。	ユーザーパスワードの設定や変更、削除を行います。
Password on boot ※管理者パスワードを設定すると表示されます。	パスワード入力を要求するタイミングを設定します。 Disabled: UEFI 起動時にパスワード入力を要求します。 Enabled: UEFI や Windows 起動時、休止状態から復帰時にパスワード入力を要求します。
*Admin Password Status / User Password Status	Admin Password (管理者パスワード) と User Password (ユーザーパスワード) が設定されているかどうかを表示します。 Not Set: パスワードが設定されていません。 Set: パスワードが設定されています。

*Platform Mode	システムモードの状態が表示されます。 User : セキュアブートのキーが適用されています。 Setup : セキュアブートのキーが適用されていません。
*Secure Boot	セキュアブートの状態が表示されます。
Secure Boot	セキュアブートの設定をします。 Windows 8.1 の場合は [Enabled] で使用します。
Secure Boot Mode	セキュアブートのモード設定をします。 Standard : 標準モードです。 Custom : 詳細設定が可能なモードです。
Key Management	セキュアブートのキーを管理します。 ※「Secure Boot Mode」を [Custom] に設定すると表示されます。

## Bootメニュー画面

「Boot」メニュー画面では、システムの起動 (Boot) に関する設定を行います。  
設定項目は、次のとおりです。

\*は項目表示のみ

Boot Option Priorities	Boot Option #1	1 番目に起動するデバイスを設定します。 初期値は「Windows Boot Manager」です。
	Boot Option #2	2 番目に起動するデバイスを設定します。 初期値は「UEFI : Built-in EFI Shell」です。

## Save & Exitメニュー画面

「Save & Exit」メニュー画面では、UEFI Setup ユーティリティを終了したり、設定を初期値に戻したりします。

設定項目は、次のとおりです。

Save Changes and Reset	変更した内容 (設定値) を保存してから、UEFI Setup ユーティリティを終了します。
Discard Changes and Reset	変更した内容 (設定値) を保存せずに、UEFI Setup ユーティリティを終了します。
Discard Changes	変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。
Load Optimal Defaults	設定を、初期値に戻します。 ※「Security」メニュー画面のパスワードに関する項目は、初期値に戻すことができません。
Save User Define	UEFI の設定値をユーザー設定値として保存します。
Load Setup User Define ※「Save User Define」で設定値を保存後、実行可能になります。	設定値をユーザー設定値に戻します。
Boot Override	表示されているデバイスを選択すると、UEFI Setup ユーティリティを終了し、そのデバイスから起動します。



## UEFIの設定値

UEFI Setup ユーティリティで設定を変更した場合は、変更内容を下表に記録しておく便利です。購入時の設定は必ず記録してください。

### Advanced メニュー画面

項目	購入時の設定		変更内容	
Intel Virtualization Technology	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
Turbo Boost Technology	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
Power On Boot Beep	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
Battery Low Alarm Beep	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled

### Security メニュー画面

項目		購入時の設定		変更内容	
IO Interface Security	Wireless Network Interface	UNLOCKED	LOCKED	UNLOCKED	LOCKED
	AUDIO Interface	UNLOCKED	LOCKED	UNLOCKED	LOCKED
Supervisor Password					
User Password					
Password on boot		Disabled	Enabled	Disabled	Enabled

### Boot メニュー画面

項目		購入時の設定		変更内容	
Boot Option Priorities	Boot Option #1				
	Boot Option #2				



# 3



## 再インストール

Windows やドライバー / アプリを再インストールする手順について説明します。

再インストールの前に .....	108
PC をリフレッシュする .....	109
すべてを削除して Windows を再インストールする ...	110

# 再インストールの前に

再インストールとは、Windows やドライバー / アプリを入れなおすことを言います。  
再インストール方法は、次の 2 つです。目的や状況に応じた方法を選択してください。

	名称	こんなときに実行します	実行後に残るデータ	実行後に削除されるデータ
1	PC をリフレッシュする  p.109	<ul style="list-style-type: none"><li>● Windows の動作が不安定になったとき</li><li>● Windows が正常に起動しないとき</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 購入時にインストールされていたドライバー、Windows アプリ、Windows ストア アプリ</li><li>● 購入後にダウンロードした Windows ストア アプリ</li><li>● 個人用ファイル（写真、音楽、ビデオなど）</li><li>● 個人用設定</li><li>● Windows Update でダウンロードした更新プログラム</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 購入後にインストールした Windows アプリ</li></ul>
2	すべてを削除して Windows を再インストールする  p.110	<ul style="list-style-type: none"><li>● 1 を行っても問題が改善しない場合</li><li>● インストールしたアプリや保存したデータをすべて削除して、購入時の状態に戻りたい場合</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 購入時にインストールされていたドライバー、Windows アプリ、Windows ストア アプリ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 購入後にダウンロードした Windows ストア アプリ</li><li>● 個人用ファイル（写真、音楽、ビデオなど）</li><li>● 個人用設定</li><li>● 購入後にインストールした Windows アプリ</li><li>● Windows Update でダウンロードした更新プログラム</li></ul>

1、2 を実行できない、実行しても問題が改善されない場合は、回復ドライブを使用して Windows の再インストールを行うことができます。

※事前に外付け USB 機器に回復ドライブを作成していた場合のみ実行できます。

回復ドライブから Windows の再インストールを行う方法については、次の場所をご覧ください。



**[PC お役立ちナビ] - 画面下 [ユーザーサポート] - FAQ 番号：27621**

# PC をリフレッシュする

Windows が正常に起動できないときや動作が不安定になった場合には、PC をリフレッシュします。

## PCをリフレッシュする方法

PC をリフレッシュする場合は、状況に応じて次のどちらかの方法で行ってください。  
※リフレッシュは、AC アダプターを接続して行ってください。

---

### Windows が起動できる場合

---

Windows が起動できる場合は、設定メニューで PC をリフレッシュしてください。

- 1** チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」をタップします。
- 2** 「PC 設定」画面が表示されたら、左側の「保守と管理」 - 「回復」をタップし、右側に表示された「PC をリフレッシュする」の【開始する】をタップします。
- 3** 「PC のリフレッシュ」と表示されたら、【次へ】をタップします。
- 4** 「PC をリフレッシュする準備ができました」と表示されたら、【リフレッシュ】をタップします。


本機が再起動し、リフレッシュが開始されます。リフレッシュには約 20 分かかります。  
リフレッシュが終了すると、スタート画面が表示されます。  
必要に応じて、削除された Windows アプリをインストールしてください。

---

### Windows が起動できない場合

---

Windows が起動できない場合は、eMMC 内の Windows 回復環境 (Windows RE) が自動的に起動します。Windows RE で PC をリフレッシュしてください。

 p.123 「Windows 回復環境 (Windows RE) を使う」

# すべてを削除して Windows を再インストールする

次のような場合は、すべてを削除して Windows を再インストールします。

- 「PC をリフレッシュする」を行っても問題が改善しない場合
- インストールしたアプリや保存したデータをすべて削除して、購入時の状態に戻りたい場合

## バックアップを取る

C ドライブの設定やデータは、Windows の再インストールを行うと消えてしまいます。可能な場合は、再インストールの前に、設定を書き写したり、バックアップを行ってください。

## すべてを削除して Windows を再インストールする方法

すべてを削除して Windows を再インストールする場合は、状況に応じて次のどちらかの方法で行ってください。

※ 再インストールは、AC アダプターを接続して行ってください。

### Windows が起動できる場合

Windows が起動できる場合は、設定メニューで再インストールを行ってください。

- 1** チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」をタップします。
- 2** 「PC 設定」画面が表示されたら、左側の「保守と管理」 - 「回復」をタップし、右側に表示された「すべてを削除して Windows を再インストールする」の「開始する」をタップします。
- 3** 「PC を初期状態に戻す」と表示されたら、[次へ] をタップします。
- 4** 「PC に複数のドライブがあります」と表示された場合は、「Windows がインストールされているドライブのみ」を選択します。
- 5** 「ドライブを完全にクリーンアップしますか?」と表示されたら、「ファイルの削除のみ行う」を選択します。
- 6** 「PC を初期状態に戻す準備ができました」と表示されたら、[初期状態に戻す] をタップします。  
本機が再起動し、再インストールが開始されます。再インストールには約 10 分かかります。
- 7** 「ライセンス条項」と表示されたら、画面に表示された内容を確認し、[同意します] をタップします。

- 8** 「パーソナル設定」と表示されたら、色を選択、PC 名を入力し、[次へ] をタップします。  
※ PC 名は半角英数字を入力してください。
- 9** 「オンラインに接続」と表示された場合は、接続するネットワークを選択して、[次へ] をタップします。  
※ 無線 LAN 接続を行わない場合は、「この手順をスキップする」をタップしてください。
- 10** 「設定」と表示されたら、[簡単設定を使う] をタップします。
- 11** 以降は画面表示に従って、アカウントの設定を行ってください。


再インストールが終了すると、スタート画面が表示されます。  
必要に応じて、削除されたアプリをインストールしたり、設定を行ったりしてください。

---

### Windows が起動できない場合

---

Windows が起動できない場合は、eMMC 内の Windows 回復環境 (Windows RE) が自動的に起動します。Windows RE で再インストール (PC を初期状態に戻す) を行ってください。

 p.123 「Windows 回復環境 (Windows RE) を使う」





# 4

## 困ったときは

困ったときの確認事項や対処方法などについて説明します。

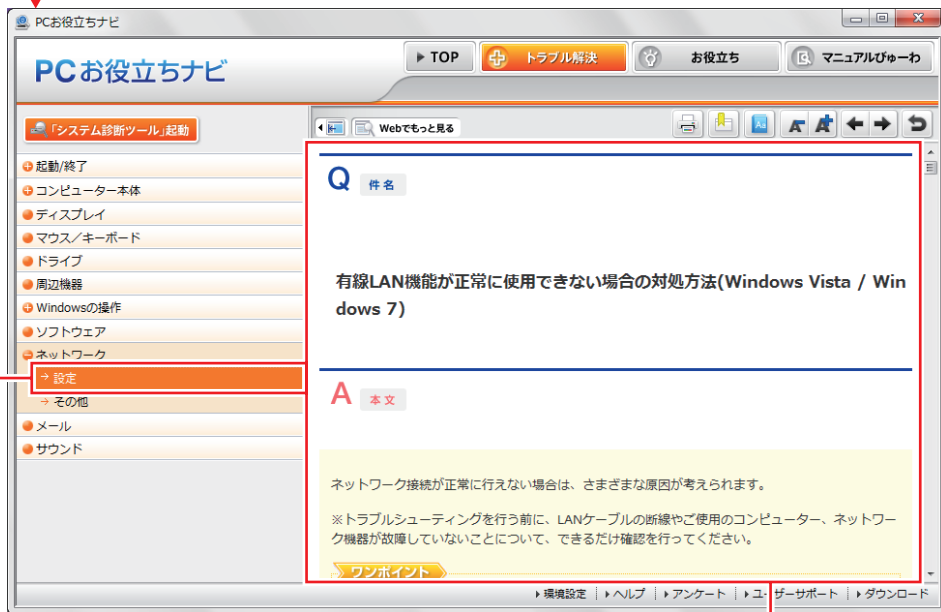
トラブルが発生したら.....	114
起動・画面表示できないときは.....	116
トラブル時に効果的な対処方法.....	120

# トラブルが発生したら

困ったとき、トラブルが発生したときは、次のように対処方法を探してください。

## 起動・画面表示できる場合…PCお役立ちナビで調べる

コンピューターを起動、画面表示できる場合は、[PC お役立ちナビ] の [トラブル解決] で対処方法を探してください。



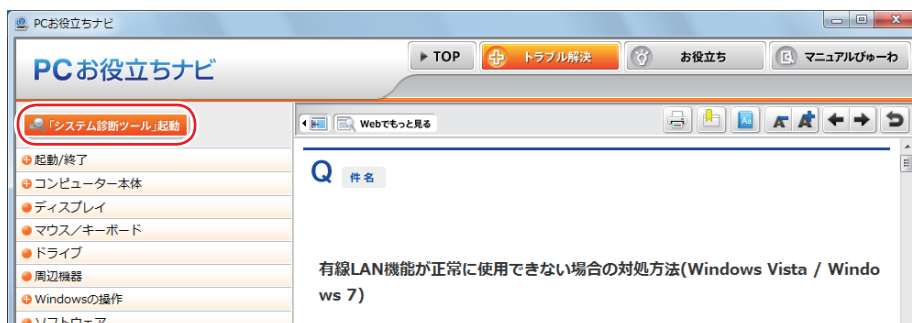
トラブルの種類を選択します

候補の中から見たい項目を選択すると、内容が表示されます

## システム診断ツール

[PC お役立ちナビ] の [トラブル解決] には、システム診断ツールが搭載されています。

 p.124 「システム診断ツールを使う」



## Windows のトラブルシューティングツール


Windows 8.1 にはトラブルシューティングツールを集めたコーナーが用意されています。

[デスクトップ] - 「設定チャーム」 - 「コントロール パネル」 - 「システムとセキュリティ」 - 「コンピューターの一般的な問題のトラブルシューティング」



トラブルシューティングツールの一覧が表示されたら、トラブルに応じたツールをタップして、トラブルシューティングを行ってください。

## 起動・画面表示できない場合

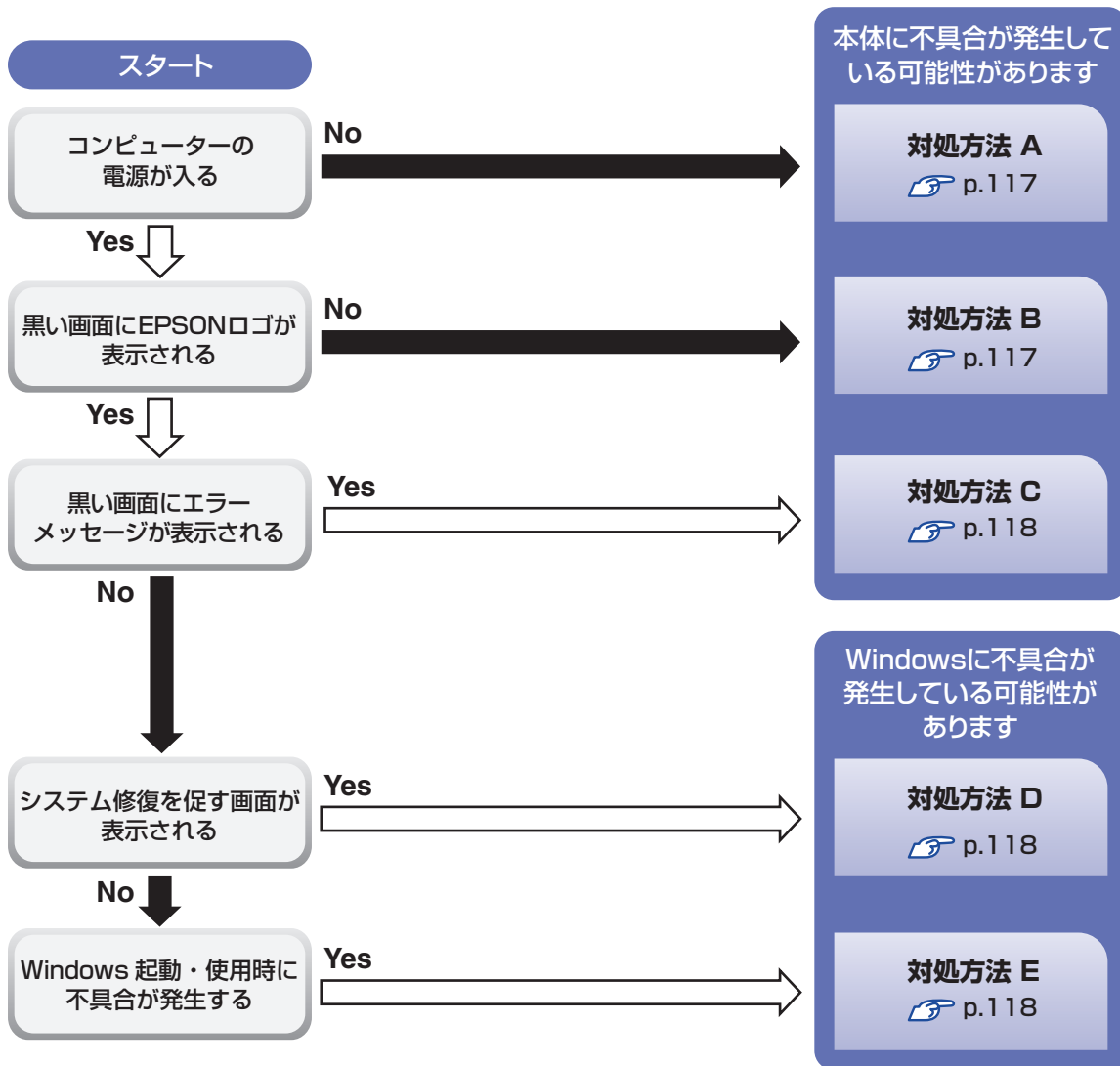
コンピューターを起動、画面表示できない場合は、 p.116「起動・画面表示できないときは」をご覧ください。

# 起動・画面表示できないときは


コンピューターを起動、画面表示できない場合は、診断を行い、各診断結果に応じた対処をしてください。

## 診断をする

次の診断を行ってください。対処方法が決まったら、[👉 p.117](#)「対処をする」へ進んでください。



## 対処をする

コンピューターを起動、画面表示できないときの対処方法は、次のとおりです。  
対処後も不具合が解消しない場合は、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください、サポート窓口までお問い合わせください。

### 対処方法 A

次の対処を順番に行ってみてください。

#### 1 コンピューターの電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

#### 2 AC アダプターを接続しなおす

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューターの電源を切ってから AC アダプターを外して 1 分程度放置し、再度電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

バッテリーのみで使用している場合は、完全放電している可能性があります。AC アダプターを接続して使用してみてください。

#### 3 周辺機器を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどお客様ご自身で増設された装置がある場合は、周辺機器や装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

### 対処方法 B

次の対処を順番に行ってみてください。

#### 1 AC アダプターを接続しなおす

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューターの電源を切ってから AC アダプターを外して 1 分程度放置し、再度電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

バッテリーのみで使用している場合は、完全放電している可能性があります。AC アダプターを接続して使用してみてください。

#### 2 周辺機器を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどお客様ご自身で増設された装置がある場合は、周辺機器や装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

## 対処方法 C

次のとおり対処してみてください。

### 1 UEFI Setup ユーティリティでブートデバイスの設定を確認する

「Reboot and Select…」というエラーメッセージが表示された場合は、次の対処を行います。

- 「Boot」メニュー画面 - 「Boot Option Priorities」で、システムの入ったデバイスを割り付けてください。
- Windows 8.1 の場合は「Secure Boot」が [Enabled] に設定されていることを確認してください。

### 2 周辺機器を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどお客様ご自身で増設された装置がある場合は、周辺機器や装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

## 対処方法 D

次のとおり対処してみてください。

### 1 表示された画面の指示に従ってシステムを修復する

### 2 再インストールする

eMMC 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。PC のリフレッシュを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.107 「再インストール」

## 対処方法 E

次の対処を順番に行ってみてください。

### 1 コンピューターの電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

### 2 周辺機器を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどお客様ご自身で増設された装置がある場合は、周辺機器や装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

### 3 常駐アプリを停止したり、システムの復元を行う

常駐アプリ（システム稼働中、常に稼働しているアプリ）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。

 p.121 「常駐アプリの停止」

常駐アプリが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。

 p.122 「システムの復元」

## 4 UEFI の設定を初期値に戻す

UEFI の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。UEFI の設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前に UEFI の設定をメモしておいてください。

 p.97 「Load Optimal Defaults (UEFI の初期値に戻す)」

## 5 再インストールする

eMMC 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。PC のリフレッシュを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.107 「再インストール」

# トラブル時に効果的な対処方法

トラブル時に効果的な対処方法を紹介します。

機能	こんなときに
<b>再起動</b>  p.120 本機を再起動します。	・ 使用しているアプリで指示があった場合 ・ アプリや Windows の動作が不安定になったとき
<b>アプリの強制終了</b>  p.121 アプリを強制終了します。	・ アプリが反応しなくなったとき
<b>強制的に電源を切る</b>  p.121 強制的に本機の電源を切ります。	・ Windows やアプリが入力を受け付けず、反応しなくなったとき
<b>常駐アプリの停止</b>  p.121 不具合のある常駐アプリを停止します。	・ Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき
<b>システムの復元</b>  p.122 Windows を以前に作成した復元ポイントの状態に戻します。	・ Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき
<b>UEFI の初期化</b>  p.97 UEFI の設定を初期値に戻します。	・ UEFI の設定を誤って本機が起動しなくなったとき、動作が不安定になったとき
<b>本機を購入時の状態に戻す</b>  p.107 PC のリフレッシュまたは Windows の再インストールを行って、不具合を改善します。	・ Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（上記項目の対処をしても起動できないとき）
<b>Windows 回復環境 (Windows RE)</b>  p.123 Windows を修復します。	・ Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき
<b>システム診断ツール</b>  p.124 ハードウェアに不具合があるかどうかを診断します。	・ 不具合の原因がハードウェアにあるかどうかを調べたいとき

## 再起動

電源が入っている状態で、本機を起動しなおすことを「再起動」と言います。次のような場合には、本機を再起動する必要があります。

- Windows の動作が不安定になった場合
- Windows Update を行った場合
- ドライバーやアプリをインストールした場合
- アプリで再起動の指示が表示された場合



本機の再起動方法は、次のとおりです。

- 1 スタート画面右上の  - 「再起動」をタップします。

再起動しても状態が改善されない場合は、本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れてください。

## アプリの強制終了

アプリが反応しなくなった場合は、強制終了を行います。

アプリの強制終了方法は、次のとおりです。

- 1 デスクトップのタスクバー上をタップアンドホールドし、表示された場面から「タスクマネージャー」を選択します。

- 2 「タスクマネージャー」画面が表示されたら、一覧からアプリを選択し、[タスクの終了] をタップします。

アプリが終了します。

## 強制的に電源を切る

本機の反応がない場合は、強制的に本機の電源を切ります。

強制的に本機の電源を切る方法は、次のとおりです。

- 1 本機の電源スイッチ (  ) を 5 秒以上押し続けます。

本機の電源が切れます。

## 常駐アプリの停止

常駐アプリ (システム稼動中、常に稼動しているアプリ) が原因で本機に不具合が発生していることもあります。一時的に常駐アプリを停止してみてください。

常駐アプリを停止する手順は次のとおりです。

- 1 デスクトップのタスクバー上をタップアンドホールドします。

- 2 表示された項目から「タスクマネージャー」をタップします。

- 3 「タスクマネージャー」画面が表示されたら、詳細表示にして「スタートアップ」タブをタップし、一覧から問題の原因となっている可能性のある項目 (常駐アプリ) を選択し、[無効にする] をタップします。

常駐アプリが原因ではなかった場合、外したチェックは元に戻してください。

## システムの復元

本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行って Windows を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。復元ポイントは通常、アプリのインストールなどを行った際に自動的に作成されます。

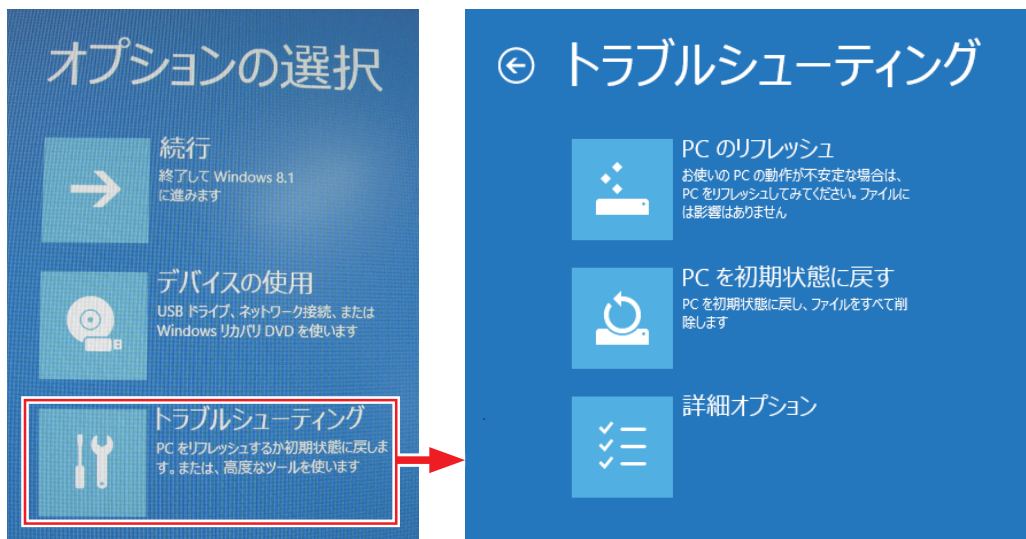
システムを復元ポイントの状態に戻す方法は次のとおりです。

- 1** 「デスクトップ」－「設定チャーム」－「コントロール パネル」－「システムとセキュリティ」－「システム」－「システムの保護」－「システムの復元」をタップします。
- 2** 「システム ファイルと設定の復元」と表示されたら、[次へ] をタップします。
- 3** 復元ポイントの一覧が表示されたら、復元ポイントを選択し、[次へ] をタップします。
- 4** 「復元ポイントの確認」と表示されたら、内容を確認し、[完了] をタップします。
- 5** 「いったんシステムの復元を開始したら…」と表示されたら、[はい] をタップします。  
本機が再起動します。
- 6** デスクトップを表示し、「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、[閉じる] をタップします。  
これでシステムの復元は完了です。

## Windows回復環境 (Windows RE) を使う

本機の eMMC 内には、「Windows 回復環境 (Windows RE)」が設定されています。Windows RE を使用して、修復を行ってみてください。

Windows RE は、本機にトラブルが起きると、自動的に起動します。



### Windows RE の項目

Windows RE には、次の項目があります。

- PC のリフレッシュ

 p.109 「PC をリフレッシュする方法」

- PC を初期状態に戻す

本機を出荷時の状態に戻します。本機をリサイクルするときや、最初の状態から完全にやりなおすときに行います。

 p.110 「すべてを削除して Windows を再インストールする方法」

- 詳細オプション

- システムの復元

 p.122 「システムの復元」

- イメージでシステムを回復

事前にシステムのイメージを保存しておいた場合は、Windows やアプリを、イメージ保存時の状態まで一度にリカバリすることができます。※個人用ファイルは削除されます。

- 自動修復

Windows を起動できない問題を自動的に修正します。Windows が起動できないときは、まず自動修復を行ってみてください。

- コマンドプロンプト


コマンドプロンプトウィンドウを開きます。

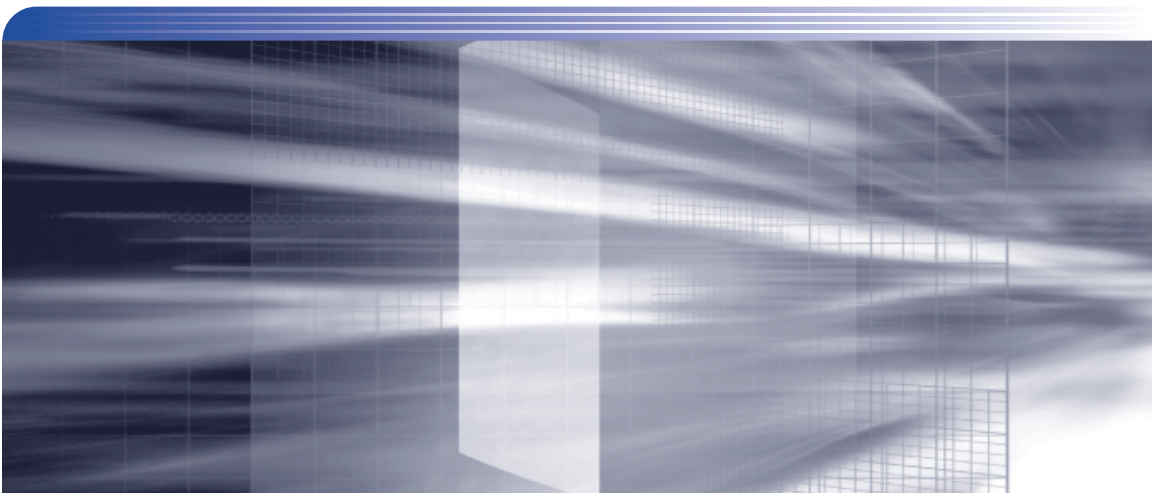
## システム診断ツールを使う

システム診断ツールを使うと、ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断することができます。

### システム診断を実行する

PC お役立ちナビからシステム診断を行います。  
実行方法は、次のとおりです。

- 1** [PC お役立ちナビ] - [トラブル解決] - [システム診断ツール] をタップします。
- 2** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をタップします。
- 3** システム診断ツールが起動したら、診断したい項目をタップします。  
該当項目の診断が開始されます。
- 4** 診断が終了したら、診断結果を確認します。  
「Passed」と表示された場合、ハードウェアは正常に動作しています。  
「Failed」と表示された場合は、該当項目に不具合がある可能性があります。  
 『別冊』『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。



# 付録

本機をご使用になる際に役に立つ情報や、本機の仕様などについて説明します。

お手入れ .....	126
コンピューターを廃棄するときは.....	127
機能仕様一覧 .....	129

# お手入れ

本機は精密な機械です。取り扱いに注意して、定期的にお手入れを行ってください。



お手入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。

## 本機のお手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

### 外装

コンピューター本体の外装の汚れは、中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。



- 本機をたたいたり、硬いものでこすったりしないでください。変形やキズ、破損の原因となります。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。

### LCD 画面

LCD 画面は添付のクロスや乾いた柔らかい布などで拭いてください。水や洗剤などは使わないでください。

# コンピューターを廃棄するときは

本機を廃棄する際の注意事項や、eMMC のデータ消去方法について説明します。  
パソコン回収サービスについては、下記ホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/guide/recycle/>

## コンピューターの廃棄・譲渡時のeMMC上のデータ消去に関するご注意

コンピューターは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのコンピューターの中の eMMC という記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのコンピューターを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータを消去するということが必要です。

ところが、この eMMC 内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。

「データを消去する」という場合、一般に

- ① データを「ごみ箱」に捨てる
- ② 「削除」操作を行う
- ③ 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ④ アプリで初期化（フォーマット）する
- ⑤ 再インストールを行い、工場出荷状態に戻す

などの作業を行うと思います。

まず、「ごみ箱」にデータを捨てても、OS のもとでファイルを復元する事ができてしまいます。更に ② ~ ⑤ の操作をしても、eMMC 内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータが見えなくなっているだけの場合があります。

つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

したがって、特殊なデータ回復のためのアプリを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このコンピューターの eMMC 内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。

コンピューターユーザーが、廃棄・譲渡等を行う際に、eMMC 上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、eMMC に記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用アプリあるいはサービス（有償）を利用するか、eMMC 上のデータを物理的・磁氣的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、eMMC 上のソフトウェア（OS、アプリなど）を削除することなくコンピューターを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますため、十分な確認を行う必要があります。

## eMMCのデータを消去する

本機を廃棄する前に eMMC のデータを消去してください。  
当社サポートページで「HDD データ消去プログラム」を提供しています。HDD データ消去プログラムを使用すると、eMMC 内のデータをすべて消去することができます。  
HDD データ消去プログラムのダウンロードや使用方法については、次の場所をご覧ください。

<http://www.epsondirect.co.jp/support/>



「PC お役立ちナビ」－ 画面下【ユーザーサポート】－ FAQ 番号：26573

消去を開始すると、eMMC のデータは元には戻りません。必要に応じてデータをバックアップしてください。



**制限**

データ消去の結果について、当社および開発元の Ultra-X 社は責任を負いません。  
eMMC のデータ消去・廃棄は、お客様の責任において行ってください。



# 機能仕様一覧

型番	TB20S	
CPU	Intel Celeron Processor N2807	
チップセット	SoC CPU 内蔵	
UEFI	AMI UEFI	
メインメモリー	規格	PC3L-10600 (DDR3L-1600 SDRAM) * <sup>1</sup>
	容量	2GB
ビデオコントローラー	インテルHD グラフィックス	
ビデオメモリー (メインメモリーと共用)	996MB (最大)	
液晶タイプ、 表示解像度 (最大)	10 型 1280 × 800、静電式タッチパネル (10 点マルチタッチ対応)、True Color 32 ビット (約 26 万色)	
外部ディスプレイ表示解像度 (最大) * <sup>2</sup>	1600 × 1200、1920 × 1200 (ワイドディスプレイ接続時のみ)	
記憶装置	eMMC 4.5	
サウンド機能	インテル ハイ・デフィニション・オーディオ対応コントローラー VIA 製 VT1802S、 モノラルスピーカー (1.5W)、モノラルマイク	
無線 LAN / Bluetooth	LITEON 製 WCBN802L [WiFi CERTIFIED] モジュール	
インタフェース	USB	Micro USB 2.0 × 1
	サウンド	オーディオコンボ × 1 (ヘッドホン/マイク兼用)
	ディスプレイ	Micro HDMI × 1
メモリーカードスロット	1 : Micro SD メモリーカード <SDHC/SDXC 対応> * <sup>3</sup>	
カメラ	2 : 前面 (100 万画素)、背面 (500 万画素)	
センサー	加速度センサー、地磁気センサー、ジャイロセンサー、照度センサー、GPS	
電源	AC アダプター * <sup>4</sup> (W12-010N3A)	入力: AC100V ~ 240V ± 10% (50/60Hz)、0.3A 出力: DC5V、2.0A、10W 質量: 約 45g
	内蔵バッテリー	容量: 6680mAh リチウムイオン 3.7V 駆動時間 * <sup>5</sup> : 4.6 時間
本体寸法 (高さ×幅×奥行)	258 × 173 × 11mm	
本体質量 (基本構成時)	約 690g	
消費電力 (AC 側)	最大定格出力時 (理論値) : 13.3W	
動作環境	動作温度: 10 ~ 35℃、動作湿度: 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)	

\*<sup>1</sup> 本機は 1333MHz で動作します。

\*<sup>2</sup> 本機搭載のビデオコントローラー出力解像度 (実際の表示は接続するディスプレイの仕様による)。

\*<sup>3</sup> 記載は対応規格であり、すべてのカードでの動作を保証するものではありません。

\*<sup>4</sup> 本製品は国内専用のため、海外での使用は保証対象外。

\*<sup>5</sup> 動作時間は JEITA 測定方法 Ver2.0 に基づく測定値 (システム構成や使用環境により異なる)。

本書に記載している仕様は製品発売時の情報です。最新情報は次の場所をご覧ください。



「PC お役立ちナビ」 - 画面下 [ユーザーサポート] - FAQ 番号: 26660

## 無線機能

本機の無線機能について記載します。

### Bluetooth

本機の Bluetooth\* の仕様は次のとおりです。

準拠規格	Bluetooth 標準規格 V4.0+EDR、LE 対応
転送速度(規格値)	3Mbps

\* 本製品には、電波法の規定により、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。

認証製品名：WCBN802L

認証番号：201-135163

### 無線 LAN

無線 LAN\*<sup>1</sup> の仕様は次のとおりです。

準拠規格	IEEE802.11b/g/n 無線 LAN 標準プロトコル、ARIB STD-T66
データ転送速度(規格値)* <sup>2</sup>	IEEE802.11b：11Mbps、IEEE802.11g：54Mbps、 IEEE802.11n：300Mbps(2x) / 450Mbps(3x) / 600Mbps(4x)
変調方式	DS-SS 方式、OFDM 方式
伝送距離(理論値)* <sup>3</sup>	IEEE802.11b (11Mbps)：40m、IEEE802.11g (54Mbps)：25m
セキュリティー* <sup>4</sup>	IEEE802.11b/g/n：WEP、WPA、WPA2、IEEE802.1x 認証に対応
使用無線チャンネル	IEEE802.11b/g：1～13ch

\*<sup>1</sup> 本機には、電波法の規定により、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。

認証製品名：WCBN802L

認証番号：201-135163


\*<sup>2</sup> 無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

\*<sup>3</sup> 屋内におけるアクセスポイントとの通信距離です。実際の距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、Windows などの使用条件によって短くなります。

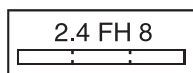
\*<sup>4</sup> IEEE802.1x について、Windows Server 2012 との IEEE802.1x Radius Server (EAP-TLS 対応認証サーバー) + WPA (TKIP) の組み合わせによる認証において動作を確認しています。すべての環境下での動作を保証するものではありません。

## 電波に関するご注意

本機には認証を取得した無線設備が内蔵されており、2.4GHz（802.11b/g/n）の周波数帯を使用します。

- 本機の無線設備は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として技術基準適合証明を受けているため、本機を分解／改造しないでください。また、本機の無線設備は日本国内でのみ使用できます。
- 2.4GHzの周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と称す）が運用されています。
  - （1）本機の無線設備をご使用になる前に、近くで「他の無線局」が使用されていないことを確認してください
  - （2）万一、本機の無線設備と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所または使用無線チャンネルを変えるか、運用（電波の発射）を停止してください。
  - （3）電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。テクニカルセンターまでお問い合わせください。

### <Bluetooth>



変調方式として GFSK 方式を採用しており、与干渉距離は 80m です。  
使用無線チャンネルは変更できません。

### <無線LAN>



変調方式として DS-SS および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

エプソンダイレクト ユーザーサポートページ

[www.epsondirect.co.jp/support/](http://www.epsondirect.co.jp/support/)